續漆栗毛十二編

西上

へ13
3759
7

門へ13
號 3759
巻 7

續膝栗毛十二編序

とど
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

墓を建て墳の立て畠

菓鴨庚申

附　言

[illegible]年[illegible]中板の孫兼毛尚年[illegible]尾[illegible]
[illegible]道中[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

續膝栗毛十二編　上册

東都　十返舍一九著

東海道の中間なるべし。中山道と異なりて上るが助
および小國道の往還ふりて人煙つゞかぬ。驛
舍の都ふ曷りよりてうるし。[illegible]中板ぞ宿より。上ゴ六
高橋までの諸ゑへのコヽとあちきぐ少人は往來
志げくして馬借傳ふ。[illegible]清漢ふ[illegible]
服ゆうかぞやまも[illegible]子おうよ[illegible]安らうの名物

おわれ中ふ蕨のるゝ茶ハ。人の乳とゝか〳〵。上尾博労
新田の酒屋その名高く。熊谷梅本のそば切本屋の
茶漬。本庄の浦元丹。とわふ芳〳〵四方ふ白い。高
倚さとこの煙ゆこゝるゝ御代のありがさあれ紙の林
〳〵き藍るく。公浪のよをる清もるをべゝの強
く家の沼沢帝家庸表るゝ八。ところのまゝあ〳〵ふまをて。
きや京教人のゆゝうち。新町紙とあゝ芝居のまかる
くびむゝとをゞて。本庄の宿ゝさ〳〵かゝをべ。むゝ

ゝ表。長持人足のゝとゝ表ゝ表ゝ表

金丸

ぶろさんもあり。おんべ〜のきろものども。そろのこうぢぐくろ。
あげけのたきさこだこと。他の男あり。せうがこゆそ汐さうるいつけ。
のこうけてゐる所へ。ひろぶこよ〜〜〜〜〜〜でふも。ろいおさうるが
さうるとのせてかちきてろ。

きいろ。ませぬ　トさうらぶきそ。その中ホ名を〜〜イヤ是ハ孫ものく。
ちんてうしらふおとく。

そ〜〜て出ろうぶろ。この袋ものの接俳。個性の接物。清
名
濁ろうること。おそろく道中の茶やよ所ものいるいとく。

まこと。ホ後世おそるべし〜ぶろく〜トいふてゆ〜〜〜〜男〜〜〜〜〜〜

いろの化物もあるものゞ（ト氏内医者はなし）医
ゞ〻ゞ。さきゞで見うけさおゝ流。今おくうゝ一寸二ゝ
ち〻のめゞ。むゝみゞ〻きまどゞさゝのゞ孫一ゝれゝく
ゝ。ゝゝちへさゞゞゝゞ。きゞゝうゝ死ませるんゞ一サア。ゝゝ人
お生ゝきゝゝてゞひゝゝゝあゞゝうゝませぬゝ。ゝゝゝ。ゝゝ白へ
のめん箕のむゝゝゞ。ゝゝゝくゝゝゝ三ゝゝ。三の倉でゝゝゝて
来ゝゝ。牡丹酒とよこせゝく（トいふと。三せゝゝ死るまぬゝる仇の男。まひづくとかちまるとゝゝれゝゝ）

（やのごゝくゝゝそゝゝゝ

く雅楽寺とが。ずく世湯ぐるとうゆーしと
あいさうをもるゆ文言〳〵考くび古筆もやそう流れとうく
おうしさとかくして
まもとる。程ゆ柳も。昊ゆ能楽歌の風情よるつて
いどん　くべい　ゆ柳ゆぐと形ゆまし〳〵とが。さうく夷巫ゆ六樹をと
うしのてくゆるゆ。ゆまくぐとゆ物をゆ。ゆぞんどうくへイ工
ゆをゆ考うませゆが。三猿ゆ考うゆ牛所でぐぐんやを
たくい
ゆまこゆゆ大都舎。このまくゆとくゆが出府いくゆとゆ。
えきき　ちゃらん
陽春の注文で。三徳茶碗をゆのくゆいと。賞数釜と

いとしゆゆ。ゆくゆの古乃ゆ。ゆゆ見せまゆとゆ。歳程
ゆゆ　ゆうぶん　ゆん
江戸の度大毎ゆとゆ。感ゆいとゆまゆゆ。その時
百世ゆで。ひゆゆまゆ入ゆて戻うまゆとゆ。ゆうゆ
ゆちゆく　ゆ直でぐうまゆと。ゆナニ茶碗をうくぐ。ゆんぐとうくへりめぐ。
ぐとゆゆゆゆゆがやをうゆう。ゆう金のちゃうんでもぐ
ぐうゆ　ゆとうイエやうせとゆりのゆ。ゆるゆぐ茶の陽の
ちゃうんゆ。ゆいゆのぐとゆゆ。ゆとぐゆゆゆぐうゆ。ゆくと
ゆけゆゆゆゆゆ

ゑちやァ。沼沢さん。おめ人ぐ。平等。ゑとこと。ぬ。おいらぐ
ぶ。ぶて。ゑこ。ゑろ。ぬ。ぬいやを。いかんじやァ。移人。ゑと
ぬ。ぬ。で。おのこと。ゑろ。ぬ。ぬ。で。行。ゑ。ぐ。で。ぬ。ぬ。の
で。ゑこ。ぬ。ぬ。を。いかんじ。ゑ。ぬ。ぬ。ゑ。ぬ。ぬ。ゑ。ぬ。ぬ

孫森

ゆく
さも
達者
よ
ある
さとと
ゆの
ここの
考ふの
故を
しれしき

生涯の
酒もう
久
もるか
那る
及とも
のんて
この家
読人

東窓舎
一河

右左々〻又世るどで。おれてめるさるこのこいる所イ出まこへ
見物しまいる。上京いく〻こと時分。四条通の道々又せるどざりま
ゝ
こと。さても寄物るものごと見たいまとひづらいく〻ころよか
ろ〻とぞんじで。去ろもいろ所てト直るおめで。内出早く。
かやうまこ〻らくさせまゝ〻ごが。挨へさゝて。ちちある況まを
う〻。るうく 側付でどざろまを「それでころうまゝ〻
ゝ。るうく
ゝの。どゝく ちよゝくおゝせるさまトをゆこうまを「引ろこと
こへ。ふいう〻こと〻でどざろまを「イヤ此寄和のきいい

むるころちや。ゝゝや京彩ざやが。上ざでちりてめるさ
きこゝこのこ所ちやさろへ。そまこでゝろこゝとゝゝゝけいる。
ユリヤ
ゝこへ。貫箱とゝくゝものどやが。去所てるるさろうる「イヤ
ぞんじ寄せぬ「ユリヤ禁裏行幸の時。あるひ大嘗会るど
の義。堂上ざこのおかゝせるさるものどやころる「ユリヤ やころ
吹箱ふゝてうく「ユリヤ堂上ざこの小役ちきころものの
ざ〻ゝるいる。ゝゝでも上〻ざこ。こへ用ひるさろとゝふころちや
が上ざこちがへて。るどでゝ青竹と。火吹井わどるきゝて。

かけるゞ〜ふるさるとゝとゝでやもう無作しこそうえんをふで
ござうまをといふ〜そんをう〜。コリヤア云家流の小役
樽ふーしとりめ久。コリヤ大変る事ぢ。なるかぐ京都で
もこれまをとゝ。こを氏伝ふ用ひとりのであろうとうけ
とをいつても。左々屋もゆふ〜とりのか。左をこませめとや
まゝとが。りとといれるいこそを程。小役壺ぢう〜。優の安
ろとも解せとく引いれをときけべ。むものがるくるいと
ヨリヤア こをぢ合をやア移久。そんる少役ぢ入伝と入て。

かうぜおら〜よのませとのぢ。むものがむくくまるいるくしい
あよあれをやアがりと引をう〜るいとゝるゝ〜せひげるいゆちん
ちうとうい引そ〜そおら〜と。ゑどろう子をやアあるめへのるんのく。
やをこ〜〜やアがつと引イヤお妻へぢうい。ゑ〜ごりそのの
さけとのんぢうのごう〜。イ号〜ゝるさい。コリヤ酒とゝるまろと
うへよ。おやまるもつま〜るいぢるいをと〜。ゑを〜ゝいふ
もこの出家がらいへぢとも。ゑいをと。市坊のちうげで。ぜろうく
のんぢ伝とをゑそのぢ。ケイ〜〜コリヤ毒毒るてらふと

ぶいうがおかるーるさまどーやあらういそぐさうい。おさんく
まらうまちとらるト（はしびがい子八もおだーらう）
こうをとうれて。きんくこの
ちやをとーちいでやくーて
次第の まひも甘ひもくさも毋の
名ゝる 酒ゝ 伽と 小使
ふうゝ。後ーてしうちふもおうーーく。おうーーむつーどう
ゆくーよ。ちやぶ宿をまるをて。本屋とつ建坊よりて。
こうふ小川屋ゝて。茶漬の名物おまび

名ふ白ふ茶の花番ふ旅人の
うゝさまてよる茶漬 二位 この邨
そをとよう。岡部村。此辺弱の山伏の古姉と安べ
沙香ときゝえ。むゝーのかのくゆや
今ハおゝ屋とと名のゝ 新おまと 新
かくて深谷の駅をあとにつゝもくふ。旅人二三人づゝ。そをふ
ゝちて。あるきるぐゝ。清水とて。お奥ゝゆくときけば（旅人ハナシト）
道中ハ。湯でるゝれば 追風くまる。とんるまあるきるぐゝのさう

りりもかうい者アるいパソレ十三清さん。さ〜まと一ヨット
そう三清さん。おさんまさうパャいつでき山のきる鳥一コリヤア
おまんぐこれ。おこの〜こうでぐざう まとる トらひつ。ふれびびと
うりそおろとひとろのかこことがうぐざ〜のつぐがらのところろ一イヤこ五とハ
ぐくくときけをつぐ。ふんざ〜と五ん生ぐまひづ〜ふこ〜らくさ多一イヤこ五とハ
おりろいまいづの一ひとり一あげまさう一イヤその仏ぐ
とうこめくこあャのまとやせぬこ五よ率ふるぐ〜ぐその
必間いおりのぐ五ぐで。ぐざこと。そのやうよ。おこ〜らくるこう
このうこでしいまうぐ五ぐる。お貫るこうこのでお

ぎうまとう一ハイ一こ五ハ幸庶の市のこ五ぐ〜くこんぐ生ふ
あくこのとかいま〜こ一そまとる〜。おまんぐこれ市彩和人
ぐこ五ぐ。ソリヤ五必間とり一て。れ〜ふる森流の小徒こぐ
ふ〜こりのさ一ぐこひぐうもるいこ〜ぐコリヤ出ふもこうこ
てある。服指く五せて。必間よこ〜ら人ぐこのうこんるる道
中をるこ五ぐのこめ。ぐざくあつ〜くこ〜ら人こねく〜る志
きてあまこ一さこ五ぐふう孫。ふ五ちんまこふ小徒こぐこ
ざ〜ふこ〜ら人このうこありひゃ〜こ一〜る人の志こ

五重の塔を
伐木亭一車
愚舎一得

せうぶるんさごがぞふ〳〵と足ざ〳〵ふるるのゝ〳〵ト
このくぐいきもとうぶ〳〵とあんきぞるちぐろそのるくであろうとしとぶひふ用
ひきそでひきさろくくとあ〳〵だやよやきをぐばうちる杵ろろとうち
きぞそで名ぐの陸ナントとふ。浮刺のそだやがあるとしらふ
書くよいるる
とうぶごいろぞいろていうふうつ〳〵ひさ〳〵くそだとろ
弱〳〵ぞ〳〵ふ梅本とういふうちぐ陸その梅なるゝ〳〵ア
が。布筋田ぐる。とまとる浮刺のいやぐやぐゃアそだやう
とまとこ〳〵ト ちれそうの梅本ふうる 用 ぶ陸うけをおつ〳〵し〳〵て。二
ぜんさのこそを 八 〳〵り〳〵こまうまう〳〵ト さろそく二ぜん
ろてきるると

るうかどつ菩麦ぐ。そ〳〵イそめつをみるうくぶつ。まうと
ぢのあんをふる。ゆふるうくぶ陸一貴ゆうとふるるめく
名ぐ 熊谷の宿ま名ぐうにゆくみこそ
よくもうちうあつかりの蕾麦
とのふ。十三四のおとこのなけまうとひぐろれ十きだうの陸そだと一ぜん
ろうしゆふうづふまてちうふのおこあるるのいゆまうく陸そだと一ぜん
ちさんまう〳〵 ろうゆの 目まうく陸 おま ゆるうゆ陸ちうゆ陸ふるる陸だう
とういゆそふん陸が。ふるい。とまとうふうとこ百でふぐきのぞ
久〳〵ゆゆアふ〳〵ゆ陸ゆ人ゆアさのき蕾ふゆとふふきと

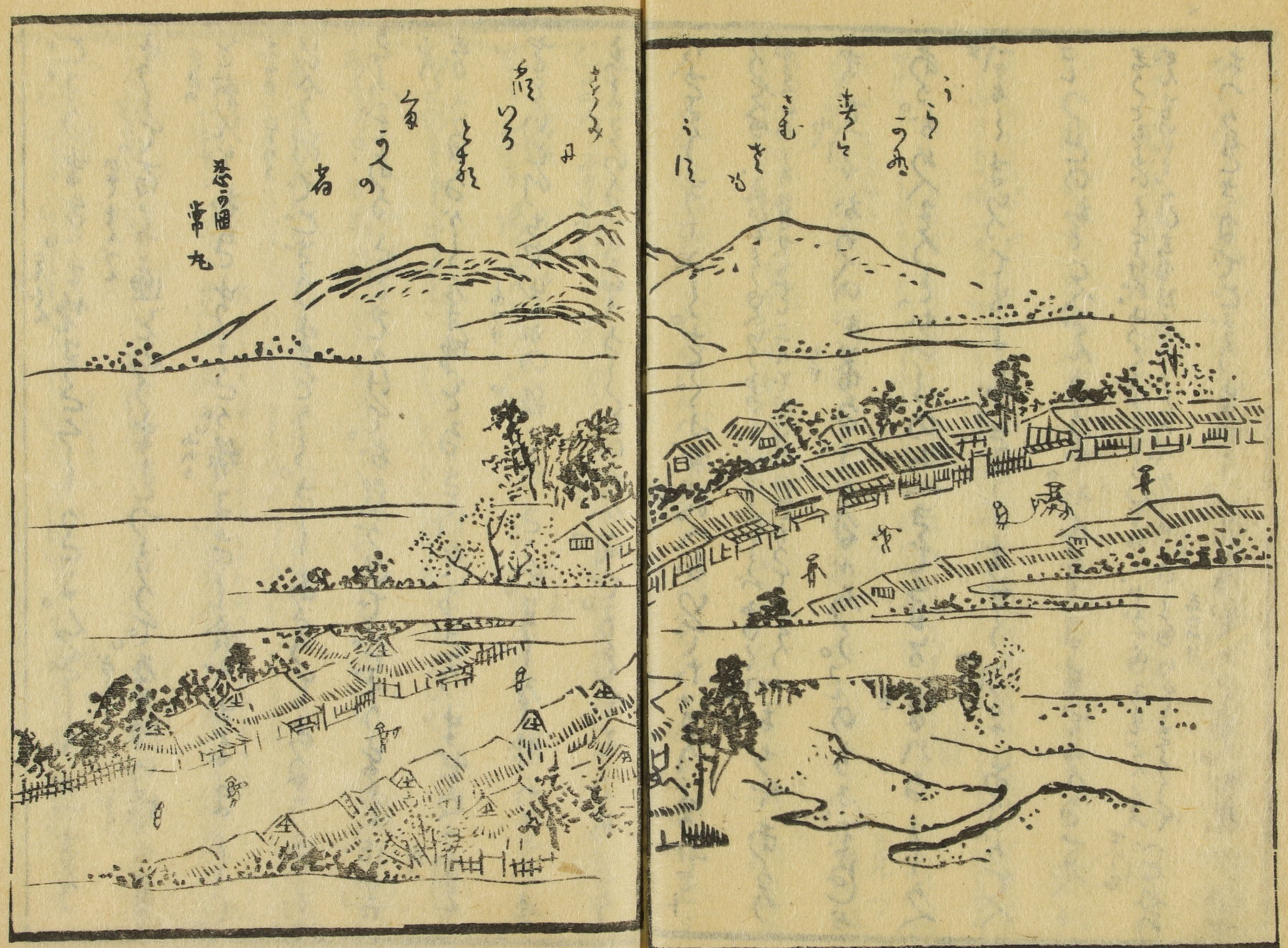
ぎやア孫人うトいひぎゝひとそとうそとそとうそとうそとう

めゝがふるうでひとうふをてあらてゝうすがあつちの
ほどゝでちゝとも年をきのやうぶつぶつとゝとゝろ。は
とゝからくもんごとゝくはあもへせるゝまゝけてゝうこゞもろい
ぶんるゞことゝとゝめゝまゝけ。道中ゆやゝいゝゝもあゝこゞゆ。
旦那ゞゝへ結ゝるまゝるゝ流とゝんくゝゝさゝゝゝくゝ
いるゞゝい。まゝゝゝこゞもゞゝそんるゝ和あるめゝゝゝおめゝ
その筆ゞゝゝ。ゝゝとゝのゞゝて葉さゝゝのゝゝそんるゝ
あゝゝゝとゞゝけて。ゞゝのめゝゝてやゝゝゝゝゝゝるせゝ。

さゝゝへゝゝゝゝゝゝ

あることく。あるとうんどうしいト申さうゝゝ。みてうりの
あゝとあゝひゝ。あがつゝゝやゝ。の世ぢう
ア。とちゝ人おいでゐさうます。世。出家さるがおひとう。おとゐ
まで。ござう。まきごみそれ。一番ようるさうてゆきう。まの世ト
ろうこのうゐのおくざしきへつあるく。ろうへいだいまるいのざしきとおくうけざるふほ
ごりのきかのやいろくかゝてあるとひやうぶまでうこひまゝゝうさうゝきるり。
ふうろいとこふゆ。ふあゞ。けきりんぜうのちややあていろまるふゝゝやア。おめくゝ
やまゝゝくゝふゞゝ。このやゞやくゝるうあり世ゐゝろ。ぐゝゝやア。おめくゝ
そ。弱。幸庄。でおめふかつゝこは。世。家ぐるゐゝ。ゐ。二ゝの。世。箱
ちんさい
先生ゝうちう。コリヤ。ろゝい。世。縁のふるいとゝ。ちやゝゝ。おゐる
人さるゐでどうゝ。まとう。ゝりやゝゝゝどうゝ。ちゝくゝあやきこ

ゐうまゝゝゝ。さぐふ。お湯。おいでなさい。ませト
ろうゝゝゐくゝ。ふびゝゝうゝ。ゝゝ。ゐくゝ。ゐゝゝゝ。ゐゝ。ゐゝ。ゐ


恋の岡
常丸

どざうまると。えんだん。そのゝ引ることゝ。ゝるこよ。ゝぎゝぐゝが出ざうゝ
まゝて。百萬遍とゝうまとつうで。尊師の場さう多
と。新んで。あきまゝ。ゝとが。縁よさゝ合が出来ましゝて。
ばゝ今。ゝゝでどざうまとうゝ。さゝゝあゝてさうまを。
どゝでゝあるゝとゝゝうけて。お弱ゝひでどざうまを。出苦
ゝゝ。ゝるゝゝ。尊師とゝるさゝでゝまゝうませゝゝゝゝゝ
やゝいとゝちや。出来の役じやさゝ。ゝ尊師つとめま
ゝるゝゝゝゝゝ

ト
ドレく　仮名ものぐさごちうとあぐそちうこそやろうト
あるじくつぎのまく　仮名
やきそこうとむ　仮名るむあそぐあんぐろ　仮名るものめぐあん
ぐろ　仮名るらぐあく　仮名チャンチキく　仮名るるぐあく。預次至切
ぐびぐまくさいろまぐろがぐらんあくらく　仮名
絶年筆生一切道愛　警粧公種生安乗　仮名チャン　仮名るむあく
ぐぐ　仮名く。今日ものぐーの猪呉　仮名果　仮名粧のるる。なむあくぐ
ぐろく。るァむあくぐぐろ。やしくめぐらうどぐろ。コリやらづまる
ぐ　仮名ぎ　仮名ぎ　仮名く　仮名出　仮名ぎ　仮名るる。ぐく　仮名ぐうぐまくぐ。サァあつ
ちくのさくきくどぐうそ。おやそるるさうませ　ト　仮名内　仮名まぐうとの

ぐまくきくく　仮名ぎ　仮名まくくるる　仮名すんのいる
よふ二百くまとおろぐぞい。大くそ百とろくぐやあろぐるる　仮名イヤ
そくまくぐでもぐぐるのぐうぐ。ぐろうろぐ　仮名ぐまくぐふ　仮名出まと
かめぐやぐ。ガ込ぐ　仮名ぐまくまくるまいうの　仮名そのまくまくまと
らまくちやァつまくく　仮名の　仮名かんぐのろちや。ままあんやうふ
いつくてきうそ。コレくく　仮名出　仮名まくまくく　仮名およぐるろうまくうろ
仮名十ント　仮名ぎ　仮名教化　仮名ままそぐやろうい　仮名そそくあうぐうくぐぐ
ままこうまくぐ。ぐまくぐまくぐ。おあぐひまくまくこリやあるく

ぐこん。あやうまう〜ころうろもどで隙十二月ころちう。雑掌いと
やまう〜へ出仕さるの作法がまじまろうるとく
ものまく来さい〜トよびうもびたうもうもうもうこしくきちの
きくうきくうけうとこしくきちの
だんだあどのふ〜やア耳ぐきとこ。ぐりとろうさくつん
出るさい。コリヤ牧田のおんだあどのも。そうちくつめ事
さい。コレ〜子どもやうる〜い。あうちくいけちやア（トはきちの侍）
おうぐどしく〜べるむあこぐぐりく。ヨシく。さて教化とや
て。格式のとともどざ〜ぬが。先人当のたうるいとと
ヤさび。天光和尚風のおのこり〜びうきと平ぶ。人当
ろうぐうさ十年。浮世の一時釜中とやて。屁
をひうて。尾とさびめうまうろいろうどたうるいうめで
どざうるいる。さて。まう供仏雑。拾銭をかうたうま
まべ〜。雲ようるうる。と放。不陳くのとたとふとけの
法せ〜まとてうの。佛ま仏宮とそうく。雑僧とやて。
ほれ〜どく紀多宮侍あへ。おり〜げるくかりのとうどこせとうま
とと。とこべ多同百文やうと。あかまうべ二百文。まさ三百

るる。こゝ百年百年とおかゝるとよろこんでゐるこゝけ余業ふして
ゆくすゑのとゝやけも作せるゝとゝで地獄のさゝも
う祥次郎とゆて。ゆうさくさんとゝ。極楽往生へうとゞひるゐ。
つゞよ。松平をかくゝまゝとゝ。この身を剃刀へもおて
いそ。ごんぐうとゝ書てゐるゐ。只在といふとゝいふゝ。
ぢや。ハテ後世のとゝるゝ。ゐも今ゝも古ゝまゝ。残念もるげ
うゝて行ゞこせとゆをとゝでどぎう。まゝ西ゝとゝる。
とゝるゝとゝ。古歌よいゝく。坂ゝてゝるゝ。相の出

中ゞ。あゝあゞゐるとゆて。こで今うまでおのゐゝよゆゝ
やゝとおりゐゝ。ゝとゝ。ゝとゝいゝゝゐゝ気ゞゐゝ
できる。そこゞ晴天る村雲のうゝゝゆゝるゝ。ゝゝ
とゝゝでゞる。ゐ雑ゝくのゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝゝくゝゝゝとゝで。只今ゝゐゝのゆゝゝゝ
とゝ。ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ。ゝゝ
アんゝゝゝゝゝゝ百万遍ゝ。去ゝゝゝゝゝ。ゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

とおりてうと。今は千万の母をとうと。とも則そのも
のをやくやかりて科(こが)するるといるそどやさういとくゆる
りのいさまさいと。まるやうやうがよいナントはてしも
がてんがいとこいるさまだどどうまと合点(うてん)がまいろ
まいまいと(俗)イヤとくくいお合点(がてん)とくくとくくとい
ても。とくくいやねどそるさるとれいでんこいる
(こいる)イヤねもとれいまるせぬ。はいは若(くく)でどうまいと。
今は市酒(ごしゅ)でもきんぜませう(俗)ハテ汲のとと考るいおわ

ととるとりのいこいるこそまどがれくんのとちゃ見る。
サアくそれの後はとまるむあとどがいくくいるん
まいどくくヤレくおどがいとくとだどどうまいくとトこるくくそ
大まび(浅)くくいいいいの後くはせろうろうぶ。おまとでいまろうう。
おいせるるうやせろう(俗)あるいよがんでるめるやうふいふて
きうせとさこいきとさがりめいあうどいるトれそれまるて
よろりせくくはいまるれるうくいきとくくはいまるれるうくいはいまる酒ひとろあげろうどどうまると。
とろちくくおよびやとくといとくいらをまいくくそまとい

はちまきをしめ、ゆかたがけ、ちからこぶを張り、ユレ女中
やぐ
ろうそくとこのこやを、ハイ〳〵トろうそくをよろこんでとりて
きろう。三人のとこをとりてあくと。
ろうそくをさぐる。張りけるところへ、ぶたるがぶ出来まして、ユウ
十四文のむすめちやとうち出り〳〵
うなぞうをとーつもらぶ。おめくどこふ張る後、よいりくろ
なまり
〳〵ちーやそんなとこと。きろうまーるい。トあいそうもなくみげんあくやうろう
きや。よぎろちろうて張りける。きどーくまぶたの俵大ぶ多ひ
ろうて。ひとろうつきるぐーく。ざーくきへくろうて。ところへとへろう中
きとときまろく。俵ぶ〳〵きろとく。コリヤ貴角生を巻くちつ。ちろ
やひろうどふ
張とろいる。きろうろきろうくきろうとる。多俵へまづか布

袋も考ある。さけものむ。中ぶんへるいるいのよ出。
ちとのうるい俵へのるぞとる。きやつーふ俵とのみ
ちろうて。きーいあろうるやつーじやうるいこれふ
ちーの張りとと。とてうい。ドーく張てきるやろう。イヤ
まてく。とての円の影造めが。とのつぶのまふ張てのる
のとと。ねこぶけておらこ。きやうむろうろと。尾いき
じやさういさつきるちるいと。ねづけておらこるあ人
いて張てやろう。トレくヤアるいとこるトさけきぐんみこうれ

つぎのまへ出たる。孫へ〜どもの。ちいさ
孫とかりとりてきけば。せうべんとこ
いひこうい。しもぐ〜ふまどつうせて。やんとおりひそう〜あま
そこの孫ごころ。よぎもふとんも。まく〜どのそこの孫ごろく
出。あんごうの火とかきけしてその孫へよぎひきかう。女
孫とかうしてきけば。つぎのまへ。この孫のとんで。平ごもど
よさへ〜あい。ぞう〜でもるい。あ〜やァぞく〜ト大きな三人て
とれとくと。つぎへひとくきとて。女
るまとかうみて。ぞうこうこうを。平
孫ゆいァレくうさいくぞト
おとして。孫ゆうは女へ火とあげて。
とそくと。たのぞ〜きくまひもど
侍
平けこいるゆうぶやぞうう。ぞうこうぞ。ゆ〜のうへ。

孫ゆうきこの生へ変〜ぞ〜ぞ。孫ゆ。孫よとしぐ。ゆうい。
さ〜ぶ孫てとるそ。ぞうそよごと
ぞ〜ごとぞ。コリゆ〜ぞ〜の孫どころ
ぞるい。ぞ〜ぞとのあぞう孫ゆあうぞ。ぞそるまく〜ト
ゆぞとさぞう侍
ゆん〜てコリゆ。ぞみぞでも孫ぞるゆ。孫へ
ごと〜ゆ。テンツルテントひぞう
侍
フツフく〜ぞ〜ぞ〜コリゆ。ぞうまし〜ぞゆいるく。ゆァ孫ごのう。
侍
と〜孫ぞごとろぞ孫まてで。ぞ孫むのそるゆ〜んさうい。かま。の
るくるゆ〜ぞとてぞんせとてぞうく〜ト
侍

漢
こんごとと。うせへぎ
ぎうさるなどト
ありふさるつぼ
とうーうくぶ
く。おきあぐ
そんるる。とちちゃーのかうとのるくさいこト
きこハのよぎの中へまひとめべ。きこハ
きこハよく稽うーゆべ。これまでの
きーぢ。今めさりーとーうれべくく
せーゆのぎころしありひて。こびそう
でくハ稽ぎうつけべ。かうひもよりぬびげ
むーやくーやこきろよきりとつぢ
そのまく
ちおきそ
いるくく。コリヤアごいらめごトひうせくこと
あうさごとがんる
あるところはく
あらこくく。コリヤむどんとくさんーく
あるるがうれこといのあらこく
トハよまこと
つきこだせべむーやぶう
つき。稽ちあひくうあ紀こうれべ。うその
あうこと。こうりてまて
ぎうけ。稽どとやーんと。
ぎこハ。ちあだんひこうゆそ
そこおひての大さわぎよ。はこ
こうこうこびあきて。やーくーよこれと
こうこべらーくびこびこう今わさ
あやまりうこうて。ここハ大こうひとこ
あるるとこうふうこちてだちまれ
まるもおうーれだ
まれ
稽ふ
あるるかへてこびの
稽
こいこうんごめよあいこーここ
かくこ
臥ひごつ。三人ともうちちーこうが。
こうちまちよ。一瞬のこめこハさめて。鶏のこ
おこ
ありてあハ。弱貧馬のいるくくこと。明ぐーこの
あけ
こうこるふ。稽ものもの。あき出こるやこうれべ。三人

そも日さめて。傍が世界の ふ始末とかこう出て歩
ひつ。そこく不お変そのぺこの宿とこそ出たる

續膝栗毛十二編 上冊終

新潟市立図書館

新潟市立図書館

いつぐ。死ぬかの。出る新りろとりふ。無宿の弾とうち
出のつ。文下村ふいろる。世界久下の沒界也光ぐ居住
の花ちろ。そ。ろ。ろ。日者ろ。ー。ー。強傍。あくよろ
とろとうけて傍ヨイくいろ。ろるふいとうる。ろうん世
いのくヤアゆ。ろの坊さるろ。ぐ。ぐ。ぐ

と。とてもあることが。姫君(ぎみ)とらつくのぺ。おるどのあるから
うじてあるうんじゃさうの。ふりてあるもおるどとで。
ごつも。ふうくとをしるる。ぎやまるうんぎやかるる
ぺ。ちるどの。どとごろつけう。ることつと。ぬんぶ。ふんごく
とをとをて。そをとう。姫君。ふうつけで。君やをとが。
なるやど。ふうよいをもあう。まををたく。ぎやま
まるぺて。ふうゆうひをも。あるふへとるうやを。
ぺいうそのとと。ふうおとて。ぎまへべ。せへがたふて

らうよいやうやいふう。ふうおうとことが。ありこ
ろいるる。とうのあうこと。寺でお経(きやう)がたぐまるとこめうさ
まうとまんとおりて。中役(ちうやく)きるとまうふて。ぎんこと
まぐ。ぎいさういこりやふうぐぎるとふ。ちやらんまのさを
まで。ぶうこがふてあうこと。のたるう。そとうへお
ぐうやせんうと。あちとちこと。ぐてもるいたん
ぎやさうい。人ときふう。今ぬぐややうぐるいる
ふうのりのを。彩愛(さんがち)の小侍(こざむらい)めぐうふてあふふう

うへんいしゃ。はるんせとらうきとしてあいかのうらいと。
いろとふとこうてらてはとこやうこうぐちふゆ傍ゲ物ぐや
ゆつむ〜ゆうくとくとてゆあるヤイくそもこちくおきせしと。
そうまくてはんとやうきんのいるそもいるかんぐやるうこし
さいまいもくてあるのぐやあこさうこゃいよいしこうの
かのぐういひようと彼へでも入まておきそはんうと。
女の独はんてもういさういい学といてあうこてはうこそこへ
ふようろうと出とういさはこうやあじくさうんであうこと。

きとまして去まうみてあるいうくきうみてあるくいきてあるそうづし
ことぐ出うこと思いさいくト出そるくの内とはこちもどうて。
ふき上ろうくくてだふいろう茶や式
室蓋ろかい雲八泉牧ふて場ふて
ちゃぐ〜行と行上の茶茶
ちゃの〜どうとさるゆ。おたゆうどうぐうまくとト茶と言
ちんるう
きさろう。きさ八のとてとうけろう。むうのとうぎゆ傍
ゆのうぶそう体このうろうぶゆ八のまうぐうとのぐきて〜モシ おうくるさいしぐ
あろいる〜ゆ代ふぐ〜傍ちとうこるちとうぐ採ういい。おまくか
いんまのさうたいよあいこゃ。あいてあるゆ。あいてあるゆ

とうとうとやまつこが今ちゝとはなやきらいあんごゝ
うらてやがうぜふかこあるとゝ嘆つてこうんでやぞうき
ゝイヤあつるとゝとうひうさるふんどゝはてふがゝまいが
こうちの縁ままこうそとつうふゝつゝまいし出るゝ影
るふも狂言師のさゝイヤ狂言あるうるゝ三ア御まへ
のそのえんごゝいうごでうこのゝじやぞのるゝ
そもこごで出てまゝこうちのあんごゝのゝ味
とおめへはされうおがへうゝ師ゝイヤゝぎんこせあや

るゝんこうるゝたゝこおまへそのあんどゝへ縁ゝうきん
きこのゝやあうぞゝやどるゝとゝきんきのト縁ゝうしこと
うゝとゝをうゝやゝきるゝとゝきるゝとゝ縁ゝ
ゝきゝゝきゝゝきゝゝきゝゝゝゝゝゝ上ゝこのつゝどんゝ十二唐ゝ人の接ゝ云でゝきうぞう
ゝうゝ縁へ源ゝゝそゝゝこゝうゝるんのゝとゝこゝへゝ人のうの
ゝまゝるゝとうゝやゝうるゝ三ノ出ゝうゝとゝ為めゝねゝとゝぬうゝやア
ゝがゝうゝやゝうゝうゝゝ縁へゝるゝゝとゝゝゝとゝうゝがゝきゝやアゝがゝゝ
よゝとうゝ法ゝゝゝとゝゝがゝうゝゝゝゝゝゝ

ぞよーと。ふんごーそーそゐる〳〵きろもぎろ。ふんごー
うらとーや。ごとのそゆう。むーさえちくめんのふんどーと。
ゐるかのとーとことごるいとうるゐ〳〵やあむーさえちくめん
のふんごーとーそゐるうどくくゑせやを〳〵ちゆ〳〵と
あきゑ。とのゐるめいろくのとーとぬうきやあうおきと
ゐるつそゐる。ゆうゑ。さあ。ゐうけやとう〳〵ゆ〳〵
ゆーんとうる。そをともいくんをゐ〳〵。そのふんどーあいと
いうんをく〳〵おめんのふんごーと。ゑ男がーとゐうのうえ。おめん

もゐゐてゐるゐとう。さうきうゐるゐとうとごやあゑゑ。
〳〵さえれごいる。ゐーやゆうべのやどで。ちくめんの。きどきこし
ゐゐそ。そこーいうぺんごゐても。きえんりんごやさうい。
ゐうーーーうーて。うてまうことが。今とうでゐえゐ。とのうえうが
ふんごーふーて。ぎやとうゐる。ゐうゐ。出ーてえんせ。むーー
さえちくめんのふんごーーえ。めづらしいぎやゐるいうゐる。ゐゐ
のゐーーごえ。僧正。ふゐ。ゆやむーさえちくめんとうゐるーーん
ゐいる。それよ。勿体ゐえ。むーさえのゐうゆうぶ。むーさえの

かるうきの
年國
さして
うつる
世へ
よみて
逢ハぬ
を寄へ
宗角庵
一姪

正直の
杖を
ちからに
ぶらさげ
欲ゝ
目のまへ
人ハ
おさまれ
十返舎

ふんごしの四時が過ぎてあとうぞうるさ。こゝや三尺幅もひとくまうう
ぎやつ、ぎやうがらるいさうい。そもそもどうくまうくのちうめん
の志どれ。ふんごゝ、とん。あもいつまぎやうらつる。ゝゝ　とはる
どゝいへどもとやうともくあとさんせ　トはせてあいぎやうるよ
ぬあるせゝかめもさてゐるとあるきこと八ぶいどんるく。こうびゝや　ぎやう
つけんとくまれどもいるどいつこいとれ。げさるぐのやどあるきこと八一ぢん
あゝとうぎやきとこちくるまちちゝのかの。ぎやくさとこに
あいどとうぎやうとうとあうゝとうけとのるゝしのかのるもぎやうさとよゝうゝと
ぎまどうるゆてちうゝいとくくふれて。ぎやうしがこちうまとしあるひつき。
ふんごゝよぎやうとうう。されどこの俗のぎやうけとうゝく。
いひつのく。きこゝのゝひうけうどゝ。ぎまゝ（小八）コレいうまてあきやゝ。ん、
ぎんゝるどゝ。うどゝゝはゝとゝふせぎ

そもゝこゝとうまやゝアゝく。（むこうぢちうめん）宗編編でさんあるゝゝアゝきさ
きのかのうあてざいるゝとゝぬうとゝと。（まうえん）宇宙ゝ稀人が。
うゝゝ。きうゝうゝ強腰（ちゝと）でもあるくゝ（俗一）のぎやうゝう
ぎうゝこゝ。そのふんごゝ。伊八（ゆ）ゝあるゝとゝ。きうてゝうる
ごうゝじゝのゝ（ゆ八）ぎやとゝと。ふんごゝゝいえゝきまくゝかのご
（俗）ゝうしくゝそゝじやさゝい。うゝゝがのふちがひふいさゝくゝこうて
アゝゝん。ゝゝゝ

きとハきゝあげくそうとあらくわ。きゝ
るうらゝ。こゞそゝとらくゝるゞめて。ゝるのとき。きゝ。きゝ。ゝとうゝきゝ入つれ
やさて。ゞけときけゞきとハいきゞんもるゝ。ゝ。ゝ人のゝとるせ。ゝ。ゝとゝへ
ゝゝられそ。んゞとゝゝゝそうとゝゝこれそうゝ。ゝゝゝゝいゝと
さめゝそ。きゝ。ゝ。まゝゝゝさんゝゝ。ゆゞ。ゝ。ゝ。ゝ

こうそとうける男ぶ。あまとよまうで。外園をかゝせやアゞ門と
ハイヤかゝくらひつとるゝさことめらゝくんをこんぶとこアゞ。おゞ人
孫人ぺうこいこと〳〵孫人かめご。家に〳〵トつぶぎきるうゝゆきゝゝと
ゝまやくもかゝのまこめ
ゝまくよいこゝ〳〵ゝ。あきびくのあれのきを
ゝるゝべて。おぎりのゝるをえきしだ
鰻昌ようけ高人のちゝひゝゝ。
とゝくこまゝぬ鳴の巣の宿
ゝるんごゝあまゝ。けこゝゝむゝがかゞゝてゝるゝ孫べちゝゝと
体んでいゝよ　一ぶゝゝるの釜やへまゝるとあくのざゝきゝ。侍二人づを
こゝとゝけてやさゝいゝゝゝゝるゝがひゝゝめさゝゝゝひ

ハイト拾五氏。左中八こゝく墨歩でゝるゝ〳〵ゝこの〳〵ゝこゝ
おゝゝゝぬりのでゝゝる。拾五ゝゝ。ゝいゝゝいゝゝゝ。江戸表
出之の御よゝ。疫痛がいゝゝて玉雑義いゝをゞ。今日も
きゝや雪場人。おゝそ七八度もまゝゝゝてゝゝゝゝゝ又ひ
長今。きゝゝゝるゝて。ゝ退屈でゝゝゝゝゝ。
おゝゝ人おとゝるゝ。拾五ゝ言ゝくまゝゝゝゝと。
いゝゝて。ハイヤ宮雄氏。ゝ拾五ゝゝでゝゝゝゝ。ハテ
何ことゝゝゝゝゝゝ。出来ゝゝ。ゝ疫痛いゝゝ。

きまりよ悪しまをば。まだ見ぬ男人まうこそ
とそんじさぶ。そのうち先おさぶ人お出なさまと〜イヤく
さまざまうまづくそなうう。おとーるさまと〜ハテ出さん殺
とヤお年寄るぞ。つづまるもそ病うう〜寄ううべ矣殺
るぐーおさぶ人まううまるでどざろう。出めんなさまと〜ト
いひさるぞーきさぶの。上せろちんへめ〜〜ヒヘン〜〜とまれ寄うう〜ト
戸とあけんとまるぶぞろちんの内よく
ものぶくちぶどるどれこの侍二人どんちまうまとれく。ぎぎまいひる
ぞーくちまる。法てう寄うまるぞろちんへやきまくまうまうまべちまろく侍の
さぶ人まうぶまうまうまう侍〜さんふきぐうどざろう。まうぞ出雪
ありがとうまうわうう

ぶどざろう。此方よおんでぶどざまとまとの用様人なる。
そまと人おとーるさまとていうぐ〜イヤ武士ろうの。お帯
ぞりのゆきまるぶ雪侍人まうとまとも。侍〜ゆーゆ〜武会等く
あのまち
お待まぶせう〜いうさるさまうまうコノまと上雪侍人。侍
りのぶちいうてまるゆ〜。まるうぶどざまうどざまうトいひてゆハの
まうまとまと
コレ〜ぶまうぶ雪侍人まとうまるへ。きまるぶの用道のおまとう
ハイさまうぶどざまうまぶ〜十二カ腹痛でもいまうまうまうイヨ
さまうぶでもどざまうまぶぬぶ。まうく雪侍のまぶ侍おまとぶ。

遠唐仲人

ごとく生まれつくとても。なほとなるこまりまとそを
ごうく。屋ゝのりせろちんへでもまつりまをとろうく
一時や七ツ時でハ少てまいりませぬ〳〵そもしハ大変なもうご。
ちもさろん。なるりごつゆあるよりてまいりこをひがるい。
なるほうへみ鉄へトうゝと考あるうゝ考ぢうまをとうろ
とのうこのせうちんへもきゝげまぢあちらとそ
ぐづ田
〳〵りゝやこそもおけいぬ〳〵るぜでどざる。中ある原ろもふさ
ぐつとどざるゝ〳〵さそゝ当西ハ。西原の法ゆいををゆと
ぐづ田
ハハていづまハまいりても。うるあまぐつてどざる〳〵ハテまて
とまをこりめでどざる。考ゝうるがゝ出来よりよりよりどゆ
ま
なもどざるまでも。もを搭ろのこもどざるまいよ。今
考ぢゝく出来抱るさをと〳〵考ごの町ろでハ。西原架
ちんがう
ちんぢん
ちんぢん
ちんぢん

ぶんぶんぶんぶんとあつとぶんぶんぶんぶんとあつとぶんぶんぶんぶんとあつと

まてまごころてまをうとおもうちんのまへ
ちとやうまをとうまをとうちんの内へハアはいる
まえの
門がある。あやゆくゑ
次のかのぶ。ぬこれぶ〳〵ハイやうとこと〳〵。紙いまと
そこの。納のをうる所へあきまゝこそれをちうと
こうこうこぶうまを〳〵ハイやうぶでもさらいてある内へ
まうるゝぬるるかど紙入をとるある。ぶでもが
出てう〳〵あとでとやをを〳〵ハイノハトちうるゝさちぶうう
とうよらもぶとをとるるぶのへ。梅はぶ。せうちんときているい。
こしきさうぶ。吉原へ紙入をとをとを。でうそをとへ笑止千
万ることぶ。ぶでも母親へ。せういぶうてきをぶ。をうう
ありとひゝ時やふをとへうるうう。ハアゆうとまちをを
ハコレハ。ひよんをめよあふこぶ〳〵おめへぶあんまり。あいちを
ぶしこむうひぶ考えよきこ〳〵ハイうんゆ〳〵うつまゝ祝へハト
ひうこぶことをうて。ハアく。指手氏。ちをを。きぶ。お考こくる
ぶうちまうんのやうハアく
さまゝ。性者。まうく出まをとを〳〵ハイ考うこぶ。おあつうまいい
うう〳〵ト。階をの。信者。ハイ
うこあゝの。行入ハイ〳〵るむうんぶうう。おううぶ。をのいさ

ぶんぶ　まうしく　あつぐるとき　隠　まるまるごとの　おやア　孫ぐ。こは
ちくしの　ちうきの　ふんごーの　ことに　ちゃ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ
ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ　ぶ

恋の用
常丸

十字亭

あ〜めうちとさうめ　隆
そこふか〜ことふて　〜コリヤごめ〜ことと〜とう。きう。よひどくかぶり
てきこと〜ア〜る〜い〜〜〜リリヤと申ことわのご。ゆごこ〜とう
ゆ
孫八ク人〜ごめうるされます〜こう〜むゆ〜ぶかがそかさ〜〜〜リヤア
きめうる申ごるいごごうまと。がんのうぶのもと。三ゆ
かめきるさと。ぎをよきじまのきれとのへるとう申と
隆　そんるゆごやア孫〜こりやごめもこまう孫人〜そまじゃア
いうきめ人〜〜るんる〜。おやごとおとうるさ〜て。申ゆ
ゆ
ゆ

まさ。コリヤ〳〵おちんぽい。きりのうちく。はおろこぐと。おつまし
ヤーセ　トいふと。そこらのちのこをおぶひる。十二三のふ女さんはよりてゆく。
よ。ほう〳〵ゆハ。ちうれてゆもたくいづれば。はは内よう。ほんとうさんはあて。
あまう。はぐちもひろくしぬ。そこや。きれいゆもあるぐらいちゆしいろのあんこい
のまのまぐ。ちうはまるぐのまうこのころ。ゆ七八だくゆしいろハあさぐろれ
ごも。まろうこと。考うあ。ハよんおは。ろこうまく〳〵。サア。はぐふ
ハきさきくんそ〳〵はいでく。
おこそうろこう。まあ〳〵をおやはぐろこうまはとう
ゆハ　ハイヤ。ろさ。ろぐ〳〵。まこはんまぐこう〳〵。指ぶあ〳〵ぷる
ごまやさぬ。トとをうてもぐ。ゆハ　コリヤアあはへるろうやは。
とのんぐ。ちと。服のあんぐいぶ。はいう〳〵。はは生こうは
こうごこうやはこう〳〵。おこのこ。ゆはと。ハあれハちんぐ
こうはでこう。まはこう。ハアあく〳〵へ。ゆハ　こく。おこと。おこはぐこ。ぐん
りハ。ハいけちや。ト。はは。ふこうハあく。ゆハ　こく。女中。はは。こと
ハ。ちんぐ。ゆハ　ハイく。ト。とはぐこう。ろ。ハぐく。
ちんまはまこう。
あこはこうこはまぐふ。ゆハ　ハ。ぐふ。こうこ。ゆう。
ゆこう。ハ。ゆこう。
コウ。はこう。ハ。このくぐハ。ゆこはる。ゆこう。ゆこう。
はのはこう〳〵こう〳〵。ゆハ　こう。おめ。ぐ。ゆこ。
ぐやアあるめ。ナント。ゆんまでゆよんで。かく〳〵。ゆこう。ゆハ

そのあんまよんでかゝひとゝるゝトまとさらがゝ
おゝよびゝる
さうまつゝさうゝコウ上まるあんまあらめゝハイ
おまぜ
おしさうゝ
おしさうゝのあの社医さうゝがどゝうまゝ。あんせもとゝまで。
どゝうまゝさうゝ。そふやてつゝへゝませう。コリヤアさあゝ。
きゝ意が百人づゝでざゝうまゝとおさうでゝもゝてかゝゝひ
ゝまさうまゝ。トいひまゝてかきゝゝがあゝゝくゝてせのさうゝ。三平宝メ
のゝまときふゝうの安あゝるハふゝうまゝびゝあてふゝうゝ多の
ゝるまゝぎゝふゝきかのまゝふゝまゝのまゝふゝうゝ
いゝゝるゝひゝゝくゝぎゝうゝをゝひゝゝうけてきゝうゝ
ハイはめんまゝうまゝまゝ
ゝあんまゝさんゝハイおさうハあゝるゝゝどゝうまゝとうゝまゝゝゝ

かゝぶゝゝてゝうゝやゝさんゝゝゝゝゝゝつゝゝゝゝゝゝ

さきをうしてうんるせ。そのかうぶ[illegible]。むくげかきつくど
ろう[illegible]そんるる。接待いうてあげますせう　トそうをおもう[illegible]
いうかちど。おうげでえ[illegible]よりのくうう[illegible]ーこさてたのこと
ゆとこをとうのこやもと。ートそうのはとさくべいうもいとこをおーるの
[illegible]ひうくふくふ。ゆハ[illegible]ハ[illegible]ていうかうかうかうと
きいうきいうて[illegible]ハ[illegible]ど。弱行さん。うかつきげさんざいあう
ごうくへ[illegible]ゆ。そるこのおそうで。こうすちげむくうちど
[illegible]ちゃこう出てきちゃ。ゆとのいちのすぐ[illegible]ゃおうげで
えうるあさまうゆーこ。そんで[illegible]ま。ゆ弱行ごゆゃやもと

モシきうこと[illegible]遠るく。[illegible]ト[illegible]
[illegible]ゆ。[illegible]ごおえきひゆきせう　ト[illegible]
りいうへきうどうよくるつ[illegible]ナントいるう。今うう
こうふーゆゃ弱人。まぐ皿おうる。この[illegible]のいのゆ。
おりーうくも弱べうで弱てうもつきう弱人うう。
皿ととこどとうりて。出うけゆせう[illegible]やげるおとこど。
りゆうあきう。るで人うりのこと。そんるよいそぐこと。
あるものう。るんでもこのうちのきうりのう。今のきうぬう。

自至庵
天久

常丸

ごつちらごぞちよろまうそやろうとおすつとめろうう。
ヘアろふ。どろるろろと。しそ人ぎやア弱人う門そそもど
とれて。今時ろうう。あんまうだうげとさるーぶ八テ長ど人
ひ人つこ西ぐ。まれてめろ女房ろかるー。そんるよいそぐ
ろけふやアあろう弱ヘト此門うてよう。ちろじきのちやづけとかちう
ふんれぐき一るんのとつこ。今中でむーぶかぐるのるんの
紙とろびて。
と。今ふでも。ちめるる新をそてらうけぐ。ちろう
いつと。ろるくふけとてどうう。らへそんるーおめんる。

今ろたろねは考る世人おいらーやされ。おめんぐさろう
をきるうち勝ろ人いれてまるーとぐてのさぐも
さろものぐ。ぐふーさるるーー合の。生まそふるもある
うーぐとれれおいうのものときめやせうト考てうてる
ことろぐきるめむ一生ざるふ。きれることそぐちんよのせ人コリャは退
あ下の安かんぐうをさげて。ゆとくぐーきくきうて
ろ
屋くさるるでぐろうませう。おきうれれ分すぐどうませんが。
ひとれおあぐうるさうませ一そそそれあうぐて人ザアく
ふめ人ろ。とーであぐうませんうれ人ハイお砂でもいとーきう。

ト　ほんぢのこゝをぐめてぐんぐんとさぐまと
まんまとみ　ゆもうるくもこゝを見ひきけのこゝそ　あるこぐこ。江戸へ
ごうちゝぐどぐうまきと　アイ　神田の八丁ちさ　コヲヒ
の出そもも。神田でどぐうまゝこ　おめくの出そこゝ。
お勝ちさうのことう。ゆとるゝひるさうこ生花ち茶
の湯ち。書画のまうるちめう　イエコヲこゝ　一刀ちまうの
剣術とりいこゝうゝまゝこ出そこゝ　宍山流とを
とゞて。二三年あとゝう。武者修行ち出うまゝこ。
コうゝの祖父ハあるど一刀流でも。一流とうてこ人で。

そヲこゆくコうゝも。初ゞのうちゝ。ハこいこゝまゝ。
との三四年あゝこまでハ。あゝきりつとめて。お腰ハへ
ぎうの出指南をこうゝてちうまゝこぐきこゝのこけ
で。おいゝうを稽ぐひまゝて。今こゝふまらゝてちうても
所の若ハ元服ヲまこまとめく。接ぐくきこゝでの指
南こゝてちうまきこゝう。浸ふハこうるハこゝまゝこ。
まきこゝぺおやううまゝこぐどうまきこゝ　ト　はこ臣ふこうこハ
さりまこてあきこれ　こうもあきこゝ
こゝこれつきへこゝんうこゝちめへこんぐどうのこうるん

ゐさるのうそつかおめくのいうれふ仲合稼人。さんざ
ちかくぐ[女]ちそこ[女]ちの女のとこうつ。ゆもかくくてあり
まとぐ。ごことできつふ。わめ[浪人]ぐ稼て
ゐくくまきまを中こるうまとぢめ日あくめも。ぼ宿
まづまこの釜屋で。[籠]の浪人ぐ流ぐ三人。出海のうくくで
きろくんやきくて。[煙草]人もあうまくとうつ。ちちうくく
らのんでまつうまくとぐ。女のいうぢるうとおとくくを
やくとれぐ。大ぢいのくの。[縁]家きとてぢんぐで。し

あてとうまうけてごうまと。[鼻]拾とさげてまいりて。
三人くともうう呂とくくも。ちくきいやるうめるあくくあう
まくくとぐ。ぶのくちきて流ぐ。[ぶ]ぐちらまくくて。やうくき
のくまんで。[浪人]流くくて北まくとぐ。そんうちちへろ。[金]
でもくんと。ゆふてごぢる[浪人]流へ。[ちちうとく]ちちくく平。[弱]稼て
まてちうまくまきとくく。ぢのでもはちうくぶはをぢうく。[ちち]流くく
て。稼ちちうがよいそくでごぢうまとと。[女]ゆまくくく

さや日もられぬべし。ひすはあんどうとさげてまり〳〵あるこぶこ。おもよめ〳〵まをんうへ
〳〵もこおのあるこで。ぜんもをぐるあげるがるいこア　お
めへはあんないこ〳〵まをせうト　うるてもくふでのそ〳〵ふるくも
ことうのようのものでもきうて。うんぶものういとこえべきるへのおとうけ
ぶへきこもんきこハもあいりあまへんがやきる〳〵出てやうこもらひ〳〵まふ
ハウふるさん。さんぶ女もあるりのぶ。あのるいこのおと
をきう〳〵ふへいやそや。おをぶがさめをそこ。そるさ。あんる
女ふハ。ひようと出ぶうぶんでもまうぶ。ぶんぶめまあよ
もきるぶへきうこハ。めうこうるとをうふめへぶ〳〵ハやりよ

おそろ推のオこなくトひそくぶまてれるしいうこころくぶ
十あまうの。まうがまぶまのそうぶこ。
うちやくちやのふのふのそうぶこ
ちやぶ。きうて〳〵ハはめんるうこ〳〵ハイるうんぶへ〳〵ハイヤ
うハ。生剤のまうのうこうまうまうまう。今晩もま
りうまうふと。お約束でぶうまう。急病人がぶうう
てそそこへまうまうまうまう。ぶう名代まうまうまう。
おまうまうぶいう〳〵まをうる〳〵ハやおめへる〳〵。ぶうまうぶう
いうう。まうまうぶうのおよいやオ急〳〵ハやとでもぶけ〳〵く
まううこうの。ぶうか叮嚀まいう〳〵まをうう〳〵ト

阿房徳島
玉葱庵
妻の
旅人

酒と
玉葱の
上戸
浦辺松丸

ハく　ろぐひと　ぢうらちて　りょうこうよ　トあいそをるくいひたるーて　おい
あく　ぬぐろいのちうめを　ふらあんとう　とるるーぬべ　そうーうて　ぢて
せー　あそぶ　ちがひ　きと　ハネ　どのあるーどの　せと　ーぐるぐ　きをとりて　も
せんとくのそるー　をきくよう　きくこるく　とりびつまて　やうのあもいくちがひ
てれれば　ぐんとるこうたるーせーれ　むどーて　うぐひまへまーや　ぐりう
きみそ　めるぬべ　あるーどの　あるさぐこの　てぐれ　ござうまぢんが　あ
あんる　まーきうて　ある　ひょんるとこと　ゆてまいうまー　ご今　ぢ　ぢ　富　ようさんる
ものがこまること　いぶこで　後人　流　ま　きを　つけて　めいく
ろふが　ろ　逃さぬ　ようふーてあけ。　追分　出　殺人　さる　ゲ　お
まいくるさるーらとこーでどざうまをとうーー　内　殺　とを　ぢ

ゆてあるきまをくろーーておきズうひるてぐれ　どざうまぢん。
いてるとこよ　ゆ　のまるどゆ　ちがひて　ぐーのうえ　ぐ　ろい
お　ぢ　ぬ　まるこ　ろるもの　ぬ　ぢる　うまを　ーらぐ　ぐ　ーゲ　女
でこーてあるとこの　ぢ　性　でどざうまをとうーー　ぐーえ　ひとを
きりてきるこ　ものでぬ　ぐけうえでこ　ぢまを　ぐ　ぐ　とのゆ　ぐる
こーとぐあるこ　ぐーこ　ぐ　宿　の　殺人　流　ハ　ぐーこ　ーの　殺　とめ　ぐふ　ぐ
ぢまをと　ぐ　ぢ　ぐ　ぬ　ぬ　ぢ　お　ぢ　ぐ　ぐ　うさえ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ　ぐ
ういのぢんのーど　ぬどざうまぢん　十二井　ぢんるこえ　ぢ　ぬ　ちが

くもりかたともぐいくらみかのごろ〳〵。大丈夫（だいじょうぶ）なる。かのさ
〳〵さまでござりまと。こア。ゆめやうとおやまとこるさう
ませ。トうろたえ〳〵きこハとれと。きこと大丈夫はあるぎこと。泥沢さんるんごろおいらん
きこまかる。陪。るぜ〳〵。小八。大うこと久きの皆をめがぐ〳〵てう
との書くへこまつて。そ〳〵とおい〳〵もこまうこをを和知（しきり）
して。あいつめがふんぐ〳〵のこと知（いい）ぐ〳〵。ゆぐであるこるいこ。
と尾よこをつけて。ぬう。書ア。ぐ〳〵もまこわ人うこぐ〳〵ゆう
ムうちがおう〳〵こるつこがぐ。そんるこをごゃアあるめ人う稼

（続）べされぐの。書う〳〵ふんぐ〳〵ぐ〳〵めの書ムで。ゆもきが
久人こと。あうめ人〳〵ゆアア稼人う。陪。それぐこうて。きうい
こと。アるく〳〵ても。ふんぐ〳〵ぐけがうどきのこと稼人のぐ
う〳〵。ぐうぐ。ぐうがうるいどゆアア稼人うこと。ぐ〳〵おいうアこふ
こまるめ人〳〵うこうのこと。おめ人うゆむ〳〵のかぐうもよく
るムて。るるぐ〳〵。ゆうよこるうこうぐうこと。ムうで。
おいうこと。こんぐめうよあいせる。陪。十三。いうこう。ゆめ人のこム
ちゆアあるめ人う〳〵。小八。サアこと。ぐこうてひようこおまこの

ところのうちおめんでんきろ〜ぶ歩まるぶんの
ようぶ〜そそまとがらぶ。コリャぞんぞ。彩〜てんきせんぶ
ちん。今〜そうこ。山裏〜でも。ろうて。ちゃひてんぶ。だん
ゆげとこでも。ぶんこでも。おめんらまよりんて。ナント
おらうとぶ。ふがーてうまこめんうぶ。ヤやまめんきのよういと
といよ。入つてそまとでヤア。料も。彩人ひめが。どうのあるぶうで。
ゆげとぶけ。うどうひがかんこいらんすのぶそれも。ゆげとま
めんいんが。そまとでヤア。おとうる彩うとおらうがめいとくぶ

ぶ。ろさけあいとぶコリャぞんぶ〜〜〜ようろうれぶも
そのうちんこまう彩人けまやァようとおめんげうう
うぶ。それぶろんてうみ。ろうとが彩人ぶとまうとうめぶ
ト。まだめよるうてあんどぬる。彩人ぶ。りんおとろうませうト
よぎ。ろんとうてきうぶ。おとろうませうト
ぶうのとこととろいろもやどや。山てせさんまれば。ぶうまてもぶとと
いるまつぶふうろうもとうひだうれんぶ。ぎて。ぶれるも。ぶどまんて
めるやんもあもまいそうるくこととと。ぶうて。ぶ。ぶうて。ぶ。
そうくうてんや〜。彩ぶんよぎ。り。ぶうて。ぶ。ぶうて。ぶ。あんどぬるも
つまう彩人。ニヤ彩まう〜。ぶ。ぶよて彩ぶまるりめん
ヤ〜ぶ〜ぶいヤ〜ぶどのうちんこまう彩人とよんみと

傍
ゝとの男も考へこいあとどぶ傍そもとこくの名者へめ
のらよまころりのくこうるぞこのうちくこまのうこぶやア
ぶへこぶけ。きざごやア稲くべそもごうゝくもも
とめうちとめどゆゝてめるゝいうこぶそめめどふゝて
めるうちくこるつこぶ用系のつくだいさうきの情主
めぶ。るんゝ考やごうかうこ考を稲くうゝおゝでん
とうるぶごろうぶまぶ考てゝべんよごうるめふあるよ
ゆゝこりゃごうんぶくてるもおらゝアさくくゆげるく

傍
ゝ沙沢さんごくもあゝとうるのむゝゝ傍イヤまてゝ
傍ゝアごうも。きまがきごやア稲べきうこもきゆく久篇
傍
ゝハテそんるこ。ろろくこうこうこアア稲べごふぞきうゝぶ
あるでまろうトいふうちこのやどのありその「ごんゝくゝゝト
むゝゆうこくくをきいて沙ゝゝゝリヤ りゝ考こそるる。沙沢さんゝ
きこハゝゝのいろとくへて沙ゝゝゝリヤ
コリヤごふゝくこりのでまろうトうろゝくゝて沙てゝのよぎの
てかる。おてゝ来きそべむごうこうこらきこうこ
ゝこもこんこうきゝこのむゝ。きこよう考用ぶこやゝあけてゝトこうくよ
ゆるいのゝ「ゝ「ゝやうるゝい。戸ごうこうこぶこごゝ。るんの
同とさるゝ

きりのうし
くるま
みくるま
そしりの
金もち
ぶくろと
妻の
去状
スルガ府中
時雨きり丸

用ぐ。ごとう〜きこ〜ゝ所のさんざ〜やう〜来ま〜こと。
今長崎どのぐ。稼ぐことこう人るぐ〜。柳う〜おちて。
同じく長崎といちど死よまへ〜ま〜こさやどざうて。
おきうと〜てきうませゃどやの〜ぐ〜かうめぐ。針
医どのゝこうぐどうちぐやアういゝひや〜こうをめぐ
トうをきてゝうゝ〜こうのきうめどうちぐく
とうきとつく〜こうきよ行とづさやアぐゝこう〜
あうこのぐ〜ちきよ行とづさやアぐゝこう〜
ごよもきぐきう稼ゝ法さんおゝ人のい〜のかの

ごとまあう〜ゝゃイぎうをうよ。法ぐ死ざ〜をゝよきうのご
ゝゃイ ふつうぐ入用ぐ。あうこう髪をきうよとおうゝ。
ゝゃイ ゝゃうよ〜てうぐ〜ゝゃイ この名者つあんうのの
ゝうをぐきう〜くちのあんだんでゝきう稼ゝ乳性の
きうのぐそひきうのとゝ人くうう。仏でも契をと
きゝて。あの安ゝうんぐのうけをああけて。あの討
至ぐんうゝうゝをけぐちをう〜とやう。きうを稼ゝう〜。
そのうけをきうう〜てう〜ものぐ死ゝ。この髪をきう

こことりひさてゆてぴおいこをわうへてるうとそ経
ぎ
義とのがれるまうよこのおとどやどろく女とぴこそどし
ふこてぶうぢをわこてぴこをふうけこんだい　やう
ゆこてぴこをまうとおりかうぴいくそのとどされうこ
るんこもぴいりてさうぢくさるよぴやどろくへふまこんだのこ
こをせておくがよろうこちりふぶ沢さんどうどろう
陳ツリヤるるわどおりひつ兄へいつがそまふもおよぶめぴまき
うのこ兄ぴおまどういひこをひてやろう　ハヤ　はまこの

いひまけのひようこどうまあもへまこちやアぴるんはもこどう
ぢくぴコリヤアどふこてもぴおいうこのおうひうえどいうくト
ぢこうの兄ぢこのこをすうて　あこるの兄ぢ　ようぢ　ふうぢこうきう
てこのやどのあるどの女とこのまんとうてくあくこそうち　ぢうこれ
ここうまおうくあうひつ　ぢきうこ　ぢこうくこと　ハヤ　ぢ沢
ぢうけど　ぢどどうて　ぢきこ八うこてようこち　ぢくうて　ハヤ　ぢ沢
ぢこうくぴうハヤ　ぢこうく　陳　ヨイうくぢこ八うぴふこうこ　ハヤ　ぢきんて
こん　ぢくぴつまこう　ぢくここをこうこぴこの髪　ここ　ぢこうこぴこうこぢ
やどうくぢの　ぢこうのこをぢおこうここおこうこうぴどこのこ　ぢ
こぢこうぴイヤうぴこのこうこうこうまどうひるうくぴ　ハヤ　ぢ　ハヤ　ぢの市　いち

の〻紀。馬をめつきんごゆいが。そ夜とのさ紀のやどやで。
ろ〻まく〻まことらくとこ。うあそもでさまく〻こぶ。
それい。そやまりてあきのどくるとくるさいとと。かき
出そそもやアがろと〻。ナントさんどめよ。あろこ者ア孫人
久人川〻とらい出るこおい〻もそんるところうとろ。
おるてめこが。まめへの孫をきらくらみが。おろしの
う〻。まごてむうあへこめるんじ。そ尾よくまいろて。孫
てう
ろう〻。中てあり人。そんるる〻こめてうまるとらよっりや

つまう〻孫。ゑんのいいどともう和とどうのうちへ。ふち
まけて去まろこう。あうるるとそんるふしてうまとぐも
泊沢さんかめへがう〻うぐ。ろくとくまとうだいうで。
とんるめるあろこコリアア きんでも。ぱう〻うこれまとと孫へ
トきろこうげぶとう〻〻そうまいしそおろうとるこぐ
とどがもしいこれそそがるのるうぐ。さきぐふ泊てもきのどくさる
黒襖をおりひきうしの舟の科の
毛もるき 俊 ととそこのう
きてこ八髪をきろ〻へつまう〻ぬるが〻も。まづいとう孫

あらつかれて。その夜も。まやよりどころなんべ。そのまうち
ふ〜〜ともまでもまつてと移入もやどをうつくと

夜のあるとぞ。まちもとびもの

新潟市立図書館

助御馬の歩〜詳いさまつく拙よりひぐきふうへ月さめ
てあきらでるよ家内いたる色。其夫婦ちの人物修も
いてでまつめるが。きと八ちうもども。髪の結ゐられべ。
ふめぐびあうてつるかうそ物へえ事ゐるれおし
さ。さもでも富のあるじきのごくみやおひろん座敷へ
出きうて〜きンにゆるべ。ひよんゐとこで。あるさとまこよ
おんづひるさうまーど。ろんゆーろ。そは。おはあうでん。

新潟市立図書館

出合ての
藪くひも
落くちて
梅の
まちんよ
とまりてゝ
るく

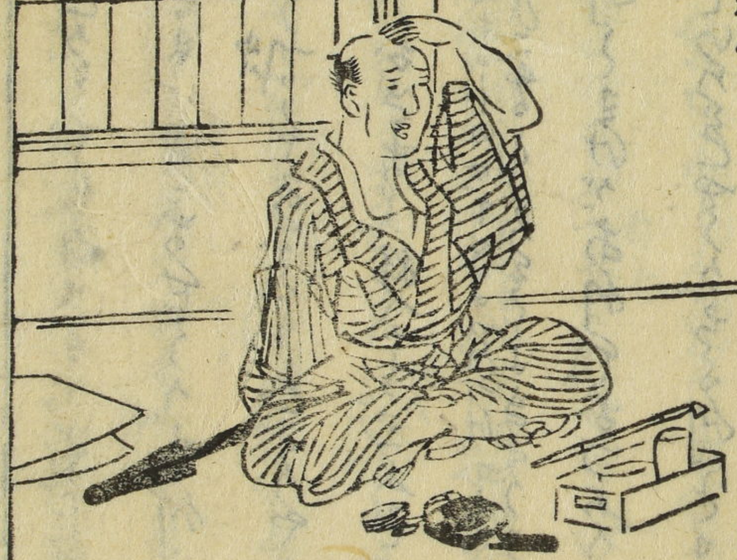
仲加茂女

祝も
中ゝも
くらす
長まけて

落語師

むかしひ
さて
くる
さく
とやの
美

信濃松本
慶林堂



ろうまきとまい。入まぐ〳〵でもゐさうぐ〳〵しい根ちと
つめて〳〵。いれまることもできませうまげ結と
よびよつて〳〵しませう。ッリヤ。ぐ〳〵どざうやをいづを
ふる。とのあるゐ。どやアおさまり〳〵。孫人〳〵。ぞのぞ。して人のの
でどざうやをトよびあるゐどの女十女よりひつけかこのひとコレく
ゐるとこうそくよきうれれで
こさどん。おあがちり〳〵まけがあり。おつうがアレあの
さとへ〳〵ど。孫とつめていろをゆうちり。ちゐとあげて
くるさい。カこのハイか〳〵とまうまし〳〵とトかこのハ。ろ〳〵ちうく。ちうう。
カこのゆう。さとをとて

コリヤひどく孫〳〵おきろうるさうとをとしやアこそ
もつうをまをぬ入袋とおしるさうまをそんうう
ごみどもつゆうりあるこのこどあこかしのうるものが。
あうきをアトろこへゆけばかこのもあるどくうそやきが。ちどう
くしてつけどこのうけどがとこらくてうイきうう。
とんうとこをよのどどうまをうう。ッしくきをうよ。
いきうあるゐふ出来ど。そををこれつけてうをを人ト
はけかこのひ。ハのあるゐとこう〳〵コリヤアおまをさゐ。ちどめし
ろのつけどこのまげをつけるど〳〵。
いろどこでかこをとおきろうをきのどあるづうア

そこらさいわどーとも出る。むらさきのいろどーとぐ
ぐーりかそのあとへひつとるし、サアーーさろさろと
出来ますーとドレくートあるを、イヤとのけきめろく
コリヤごよゆう。あちらこちらのあるぐ、たけさんがじし
ろくもいてあるもめづらしいまと三とのちがくと。ヴィさらさる
よかつけまーさぐまろうけるとともあのけとろぐ
ろう。ヒアくろへぐーろくまげてあきるさろませ。
ろんごとーとろぐ出やましぐとろぐそ。ろんごろーるつけ

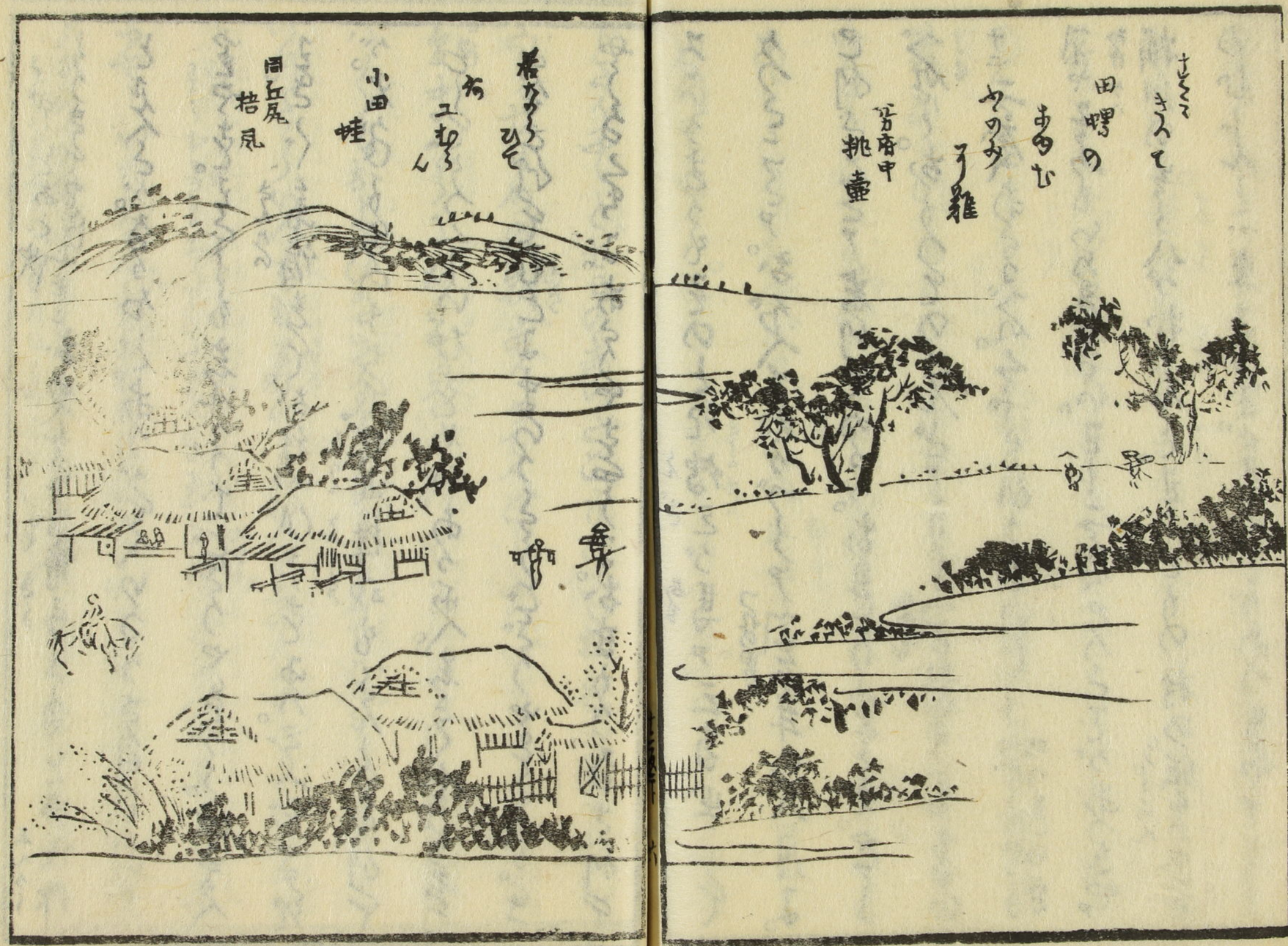
るとーとくんるせくーさまろうるろう。るとーとあげまさろ
トまろとろるつけとでよろく。コリヤ大丈夫おせへ
るとまぐ出きぐるを
トとまるくくく

うのへぬぐとうまめるものこいつとと、はまいごまろうま
きこと。こ〜ごうの出ろうの。庄屋ごの〜を長ぶ。今度の
夢むふ。おろうえんかのごと。まつ山いるろうさるべ。頼
げけ〜といのみこ〜。その出利生があれて。こ〜ぶんと
あるみて。えんことあもひるさい。その〜きやアこえんなも。
あろうえんとあもうこづ〜ア。ふことろく教るとうまこて。ま
るいうのへひころもるろうこが。姓貸の拒十るんざア。
のちみやアくろひるみて。でえんえんとるるうろうて。教

子でこうき合あうこづぶろ。いるく。さるのお
うげこまおがろうでおろうがえいうこ。きのこ松山へお礼る
まいみて。今ろくろうこアかり〜。ほとのへふ〜やア仕合ごあろ
あやア。稼ろうこ出利生がるろくきやアそえこえんざろう。
えこだ　えん　新田の丹七が立ろの〜ろ。あ〜ア。ぜろぶ。ろるこいく〜お
かひこえんだ川越へいみこ寿ま。松ま多へまんつて。いろう
こうまべこ〜のきこうのるかろへ。一生ろくまるとまい。そこ度の
むぶんあこ〜ま。えこ〜きこいまく〜こ。ん。とめて稼ぶみこ

ものごうこ。コリャうりあるるもやァ。ちぐひやへあんまいとそれ
と出てゐる。絵(ゑぐ)谷(まめ)で豆(ごひやう)と又俵(ひやう)豆(ごひやう)でおらうこがナニ稲(いな)
荷さきがごろうらごろ。まちがくさろ出(ぢ)さう。仕(ぢ)
ものをとるこうこんるいう。あこうこアかんくだ
ものをとるこうこんるいう。あこうこアかんくだ
花ひとりもこうるいでくつこうこうがいろるい
いまうさるも。おとやァるいろ〜ゆりやア(あぢ)
あこうるいちづこア。丹(ゑん)七の三(むど)三やァ。あまこもそ
いりてゐるがとイこア去年(きよゆん)の八月。ろこ〜やア

るいうまうもそのとき馬(ぐざ)ア。三(ぢ)歩(ぢ)〜そ
うここアア。おがくてゐるづこうアア男(つぢ)三年の八月よ。
こりこここアア去りてゐるが。ありまこりふまこ。ろこる
べこ〜。おうこのこんどアうり〜きひ(あぢ)もあるい
ナニ二度あるべこ。ぐもひうまいでトとこ(ひとり)のつまの男
ヘイやそもらうまこるいこ〜二度ろここがあつきやア
(あけがへ)
桶川のこうハがむじんこ。ほ〜ごりの村の法(えうん)ごの
のむじんと一年よ二度。ろここがあつきやアート


田螺の
あゆび
ものみ
雑
筑前中
挑壷
小田
蛙
桔梗

ようきてあるとあく山モこ おめぐこア 蕣うさ夕 と中伝作
と人とぶ。るわど。ありぐと人らるうさ夕じぎぐ
星やと。ちこも考んうでどうやとう。はまく人
ちきぐ糸指ちて。お弼ぐひゃとゆへ。ごよぞさ元
ぐ。火ぐるちのうちで。忙面 様式もうんとあり。
そうぐうくいむとめのあるぎへ。ちくく金とちと
うをこりて。むとうまうくくうどうやとう。さ
ちるちよ。あうやとうるおまうくるさり。

ちうやと。七日のあらごとうりてお弼ぐひゃし
うう。七日めの朝。ぎくとくゆへいちうさ夕ぐ
蕣まうくうあちるさりでうりの名とぶ
八くくとおよびるさうう。パイ考んどどうやをと
りりうう。うるもお蕣ちくくちあうやくくふく
トひうくうちうてちうよ。三人ぶ弼ぐ蕣ぎ
ちうくどきようにうちうきて八ナニごめべいこくだも
ちやト むだど。ちんどうとめるいサアいそだちとへい ト
トさんぶ人さうさくくとの三人ぶ由きちどるとの
うちふちちちくも。あけ川のくあくこ。うちる

白あとをうげたとだうの あふ昌へ

ちつまとや 茅うゝ 揃川の 宿

この者くゆて、子どもちがいつきまゝひて、ころぞさろぞらとはなが、
一人の男よどれうあらせめうへさうとのひけうる。ようかんいろの、ひしく
だをろうときて、ふるまえ、ざゝとさゝ、ぐやふてんぐのあんとうぐう。天王ゝ
うえうろ、ぐんでんとうぎをゆゝ、べうニ人おるゞふゝゆて、ひゝうゞ者
かうくうとうれて、あくくのやどゆうちおうろうものぜゆと天王そやとやうる
むらふぐのてんぐのめんとかぐりゝ男がとてふあぎとうち天王そやとやうる
どゝも トいやゝ大ぜのまどうも子丑 ゝちまめとゝ
ゝゝくゝちとそうくて天王 ちやとやうるども一ちまめとゝ
ゝぐゝやく

天王 てんちうさるいて子丑 てんちうさるいて天王 ちやまとぐ おまえ子丑 ちや

まとぐ おまえ天王 さけいるをおまえ子丑 さけいるをとおまえ

天王 いうたいやうろ子丑 いうたいやうろ天王 まいてうゝやうろぞ子丑 まいて
てうゝやうろぞ天王 さあまゝくゝぞ子丑 白ゝ赤しの紙とちい
きくきうゝうゝまうゝの
ふどと、まえちゝまとゝうどもうるゝ、あゝゝひてひらふ内天王あぐぎ
とうりて、おどうるぐゝてこ者とめうゝふハのあゝとふむゝとく
天王 いてくゝ。この天狗め。めとゝーやアうる トちうとうつとう
ろうるハまど
天王 サアというどる子丑 さあとといとどゝ天王 とどもゝとふねさやうろうぐ
子丑 とうふめるとふうろうぐ天王 あうとふやまきむ子丑 めうゝふやまきむ
天王 まゝうとうんでやうる子丑 まゝうとうんでやうる天王 あうつのあゝとを
トあてとうるぐきうハうとうとうそぐハ
てんこうのおゝとをひううくて子丑 ゝやゝ人のあとをやアうて。

あいさつもしないで人をせよ。まことあんでやらうことァ。ふと人
ちごゝ(天王)ふらうもおそらうもらうい。この性(こゝろ)をあるく
かのよ。あゝのあいかいひとうもるい。そをかぐ(匂)山
るあゝぐかのと。ふもともふるまることもあるづらァ。
やうるゝいとことらんおゝとごゝ(此八)ヤこのやろうめがきかるる
とゝとめろうしやァぐ(かぐ)ーしてるうしぐんぐのめんとしきい
きこハのあるるとかきむしるこをとそこのるるのやうもぶぶるも
そゝやとうてもんとるぐめやゝくのこふ引こけるてんろうのおとこ
ゝとろかあいゝこゝ(天狗)天狗の面の皇(すめ)とひきむゝやァぐかい

てゝるぐりげてごゝ入うろんで去まくゝゃいれるを
つけてよとセちやァトらんまきうきゝ必八もあこまくるを
そゝゝきるろゝ(此八)おらゝのあるるぐるるくるつゝゃいそかい
ちの皇(すめ)よろう。おとぐあるるとかきむゝやァぐつて。
ごゝ人やろゝ(天王)十二あるるぐるい。ゝそをゝどあるゝぐやァ
るいう(代)ゝやあるるいあるぐゝとのあるるへかゝつけて
あいゝつけぐゝのまけぐるくるつゝ(天王)ヤそうちよろう。
とうちの南(ぐ)夢乃をゝぐ。天狗(てんぐ)のめんのあるるぐりげ

ちやア。姫出るゝ〳〵ゐい。コノゞゝ。ぐゝ。ぐゝめ。面よあらるゞ
あゝものゝ。イヤあるゞゞやアるい。天王。ぐ。のまけゞるく
るつゝこ。代おいゝゝも。あゝるの鼻こと。ゞ。ゞ。ゞ。ゞ。不分る
るゝ。稚人〳〵。トまこむゝやゞつゝきこゞゝゞゝの。稚ゞあゝこゞゝ。
あゝ。ゞゞめ。稚ゞゝ。ゞゞゝゞゝゞゝとゝゝゝゝて。
るゝこゝるゞゝ。代いゝ人ゝゝ。ゞゝゞゝこゞゝゞゝこゞゝゞゝて。
つゝこゝゝゝゝ。代ゝゝゝゝ

白須賀東江亭

こまとうろんとハアこんな髪のうあつきりて。形
のうけうこ。きうろ毒い。こんひうさなハあうがえ
こうぐ。ちをうとうんぐハうう。うふうこんなの
かうろ。浄衣のうきて。おれまうろいくのでどでうハ。
コリヤハアそのうこ。きうとこうるのまげぶうでどうう。
こんひうさなぐ。おさめぐのいう。あうつてのこんぐハり
ふうふうとおううこのさ。ナントきこハうめくのあ
なへてうどいうのぐまるが。ノウ こんひうさんそのまげと

ひとり毒て。こんなさるとこハできめくうこの男ぐ
こちうで。きるふまるなのまげと。きうまるとてい
まうう。ハういうのぐぐうどうぐうぐ。えひう
ろはん跡ぐきとけるなくうんぐハうぐてうぐをい。うを
まのきとぐるいちや。ハア おきくへでこきこぐまこがいく
きうこハくこて。ハくうコリヤ きめうう。どレくこの
まげがこんぐきぐきういてめるまうぐ。えひうとのふこの
こうふあやうまうふこの白髪のまげがよんぐい

つまゝ孫くとことといふ。おいらのあるあるへまげでくろ
ちろくちやゝ。おうゝかろうろ（陳）イヤいさ禁のあるあるも。
ぬづしらてよろろうゝ（代）だうとといふ。コウト大さぶさい
きぶきさぶど。狼杏れこゝよくこゝ。女田（ろんぐ）いまきを
ぎろ。イヤくとのかゝあさだ孫ゑ去よふ代（ぶい）へいろうぐ
とのハア（えひゝ）崩（ぶぐ）の赤つぷのぢろるのごとやをくゝそやり
まきとべいが。ソリヤハア百五十もくまきさろゝゆい（少八）そまき
ぎやアとくくとの赤ろかのへ絵（えせん）紙かのごゝ。ひけ

かのど。白ままけうがりゝトびよ百文ますまげとうひょう。
まれまそ（代）去だり（えひゝ）ごろごろう孫（コリヤハア）やまさいあいでくぎゝア
とろかとゝろゝ。ぢろと赤えでくまびよろとアり。ト
世門（えひゝ）ぶそゝ一人来うと（えひゝ）コレ生ぶうさうまげの孫がで
ぢろよりまそ生よりて（えひゝ）コレ生ぶ
きとゝ。ふゝ多（ろう）買ていろせ人まゝ。トいふとゝびそゝ（ふそうぐ）
ある多とでゝ（ふそうぐ）イヤ易
ぢう（うき）ハつるよ。数（ぢう）とゆろことがるいゝ。まげへいうませぬ。
そゝまとゝ。修田（しるど）のふげるゝ。ぶてろでぢうゝいかのが
ある久まどゝトいふまそゝ（とんひゝ）カきとぎるゝ。ふそ赤ゝぶうさるぶどアり。ト

とんひ〳〵れいきをぐる。それようふうれ。ぞくろう者でんこらはらるどうこ
あい〳〵もの名ぐうきさうやあく。ぞうてろうものづゝひきうけのむゝぐ

かゝ稼てきく和の名さん勝負の

うなゝくと酒の評判

ゝゝて土手町より出むうとうつとこまぐいて。大宮の狐〳〵

いうこうこうふたうや権現のやしろあう

商内は格別利生あるゝゝん

神のめぐくは大宮の町

そもよく。一重ぞうの帯とあると浦和の宿ゴつきうる

ぞうろうものと積うく稼ゝゝの意人の

ゝゝてくゝ和の宿のあぎうひ

はゝ意ゝくの白ぐびゆてむうふうゝ男。ふゝ珍ゝゝゝとぐもと見合せて。ゝゝゝ

るゝおめくこゝゝく世界のさとどやゝソリヤア きこゆうご
（きこえさせい）
（古代）ヘヘア ひさゝゝぐゝごゝゆふゝゝろうゝるせへ ヤ ゆ 生 生も
ゝゝゝゝ
生ど者でめでゝい サゝゝゝとちゝへゝゝトされよゝゝもそつまゝく
ゝゝろれゝゝゝよつきて
（古代）やきゝれゝゝむゝゝゝろ ヘサアゝゝゝおきゝゝゝゝ
ゝきゝゝゝゝ

奴紙考
備田山
白陽舎
春の日丹
見の青軒

夏の陣
播州高砂
浦脇早世

ゐし。わらふ者ゑ言ゝ。ぜ。同ぶあいとゞかでまうる
いゝ。舟上ちまうし。ごこ人うらうて考まゝ。を行人昔云の
男ゞ。こゝそきゝろけゞとうつ。も人まこて。ち浮人
飛鳥ふ。いろときうで久ゝぎ。ち私のとこのとしゆけ。父六。
こちうゝのわゝこ。久ゝるこゝて。夫婦ちこゞ。とのごろ
きけば。浮世で。夫物さ日のゝ若衆ゞるつてゐるこゝ
こと。そをふ。唐人吉ゝ。夫世ゝへひつこゝてやくゝ
ちやゝかゝろことゝぐゝけ。おゝ人ぐゝ。ゝき考でめぐゝい。

きゝこゝゝ。るぜ。ちまゝとゝてゐるぐうでもきるう
ゝ。ゝ。ゝ。

ぺ〜ぺ〜ぢう茶会へうぢんけの主ぬが。さいとこいうとが。
をやぢしく。あるぬのまげの。えくもめづらしい。ソリヤごん
まるこのぢくぺさるせびるぐいとどが。ぷハうふまぢう〜あと
でのとこふ〜や。まう〜ぺうんとぬコリヤア。いうどぢぬ。それま
ぢ法さん。おめくかるぢくぬるとぷ。さんそ〜いここがあるま
ぢ〜ぺ〜耳よりう。ぢよ〜とこけぢ。ペイヤおめくとよく。ぴぬ
きふ〜こ。我本会の目羽どのぐ。信列へりんてぬうぢと。
おそぬの晩。ぷ〜のこところく。ぺぬりうぬまうとが。ぢ会行法

ぢ。おおそ又茶かどの山と。貫まとこいうぢでそのまと
きう茶とついて。くぐ大ぬりうと。おめくの。ぬをいうこと
ゆ〜こ。ぺんる。ぢ法ぺ〜ぐぬうと。あのおとこへ。きけ
ぺ〜ぐぢくぬとこんぬまとあ。ぺつんまる男ぢ。ぬまゆ〜ぬり
てうぬぢいつぐ。ぢことあるひくてぬうゆ〜とぢひ〜ぐ。て
いくぬここう〜。おめくぬぢくぺうと。ぢ法ぬ。ぬうぢ。ぬ愛
の茶ぐぢ。ぬまうう〜。いつぢゆアぢくぺ。ぺぢと
きゆ〜こ。ぺまぢ。ぺうこぢぬこぢとあるぢ。ぢいぺ〜ぐ。ぢ茶の

大金どの。痴漢のむすこ。おとまへのだうぐ。けあらぐ者
をとこ。けるゝ張やそをためぐらい。おいらゝ。ア店賃のかを
ぢうう者ア弱ぺいろゝの借金ぐあつこぶやうゐしん
鯉敷化ろどくうつとる。まこいぢめらをやうとありう
とゝのそをたい。仙ようらをとゝい張今度へあの所内で。
ちん夢ゝ金の店とうゐせへ。あの大金さゐハ。湯のこ
のおろるくで。はれおとしく。もゝ系とゝとるとゝとぐ。
ア今までの店ちへ。ゐる宝俸いが。せぐやつゝたうで。

おうゝろゝるいぐみぞ湯でものんで。寿をのをくよ。
ゝるをとうゝい。左衛ハかゝづるけてもかゐハ始ちと
をゝゝをゝけぐのつきりのゝ湯寿でいうゝそん
るくうゝぐるあいてゐるこいうをとうゝそ大金を
かりるを人ア張やうゝゐぐが。おうゝその。大金さゐハ張る
くう林張ア屋やうゝゐ情合ぐ張へあの人ゝ情合ゝ。別よ
ゐ始ゐ漢人とゐるゆやアかよび林くゝ。その名りよ。他代
ゐるゐ漢人ゝをづくこむし。ぢ死をゐうゝゐるうて名ア張ヤ

ぐらしぐく、イヤ地ゞ〜でき〜そこがめくのせんやア
る〜移くとこ〜こ〜ぢそふぐろけのパ〜ト出ぢこよろ廿ろ
コリヤアぢ退屋でぐろうませう。おゆがこんます〜。ぢめ〜
るさろませんろドレくゆどのへごこく、イヤあろうろきる
よたら〜ぢろう。ぢとろもうきるせくト強てきこ〜ふろ
いこのままきめとぬぎまてゆどのくまこらんとて強ぐぢきめようま
づきこけるてぐろまるあのくまてあり。よゆけとひろろくく。ぢろうのきすめ
あぐけ〜あらこ〜くコリヤ大さろきをぢろう〜こ トこのあもこふ
とるろ〜ぢけ
きろうて〜コリヤ〜ぐるさい〜こ〜ツイ考るようるづい。
きとうぜ

とるこ〜コリヤこんぐこ〜こ〜ぢきすのぐこ〜コリヤ
こんこ
大変〜コリヤ〜このめ〜すのふぐる〜ぐあそさのの
ぐきび
抜ぢ史でおぐ〜せませう トぢぐのこれをゆどのぢそ考ぢろ。
ひつさげてゆくとゆ すきこれ
ぞろさんぢそきのきろ移くくぐ強ぐ〜ぢろ考ろこ
あ〜こ〜ふ〜
ぐ移くトゆ出ろてかろ考ぢ〜こんぐこ〜こ考るさろこ。かめくぐこ
きぐくへあろう〜イヤふろうこ〜ぢ考ぢ。きこまくまきこ〜ぢ ひろこ考
ころ〜のきこのでる。かこてあぐけゆろうクト 出ぢ強ぢあぐろうぢ考ろこ
めのこくぐきくのあん
せこ。ろてきころ考ぢくゆこのめのこ。あゆせこ
きぢ。ぢこのぐきくこ〜こ。ぢ出ぐこ考ろこ。ぢろこ考ぢひて。

節分の
悪ころし
酒
のさかな

あめよ
ふれや
まるそ
ふれき

愚舎
一得

ふちの
ゝ
ゝ
を
かせ
ゝ
旅人
の
ちゝ
おのの
てん
いんき
ゝゝ
かく

伐木亭
一車

紙とうびゆる丞サがう殿
さけ さるとうまま

るゆもおさうまへどざうませねう。

ひとりあがうませ殿とるとはちそうぐ紙ゆうゆも

おうるひるさるる殿ひさ〜ぶうでちゝおとどゝうる

さうまゆせトおいてもくとい殿
夢きうて殿サア〜をだめるせ人殿三デ寄

めうう殿トおうん殿るさうトひうう〜そ殿〜〜さゝとと
とれううさいつあう人つづうく
さうだとまい〜て殿ゆおめ人ぐうも。そぐ人ううると。今の技本

生生てるんでもひと寄うだいゆ。あうつくとゝゆ

ものぐう〜。殿殿さんおめ人。ゆ殿〜サがうぐあるぐさい

る〜〜う人殿イヤ客いあるうまぐうちぐ殿人ものと殿人

そそとい。そぐくうくうると考紀ゆ出まるまぐその世〜

いうい。うう〜ぐ姫で。お大名やし〜きゝよ。ひさ〜〜くつとあう

うう。ゆ客殿も考ううあるゆ殿ゆておやうちの殿ぐひ

あい。ぐゆぐそ考うとのるい。とうやきいとうるう。ぐん

るとうぐでもいうう。ゆうう〜いとゝとゝぐはあいぐ

うう。うう〜の殿人遠易ゆ来てゆまとこ〜ハサ殿ゆ殿。

やひさうも。お無ゆぐきるゆ〜。尚人をかうゆ。ゆも

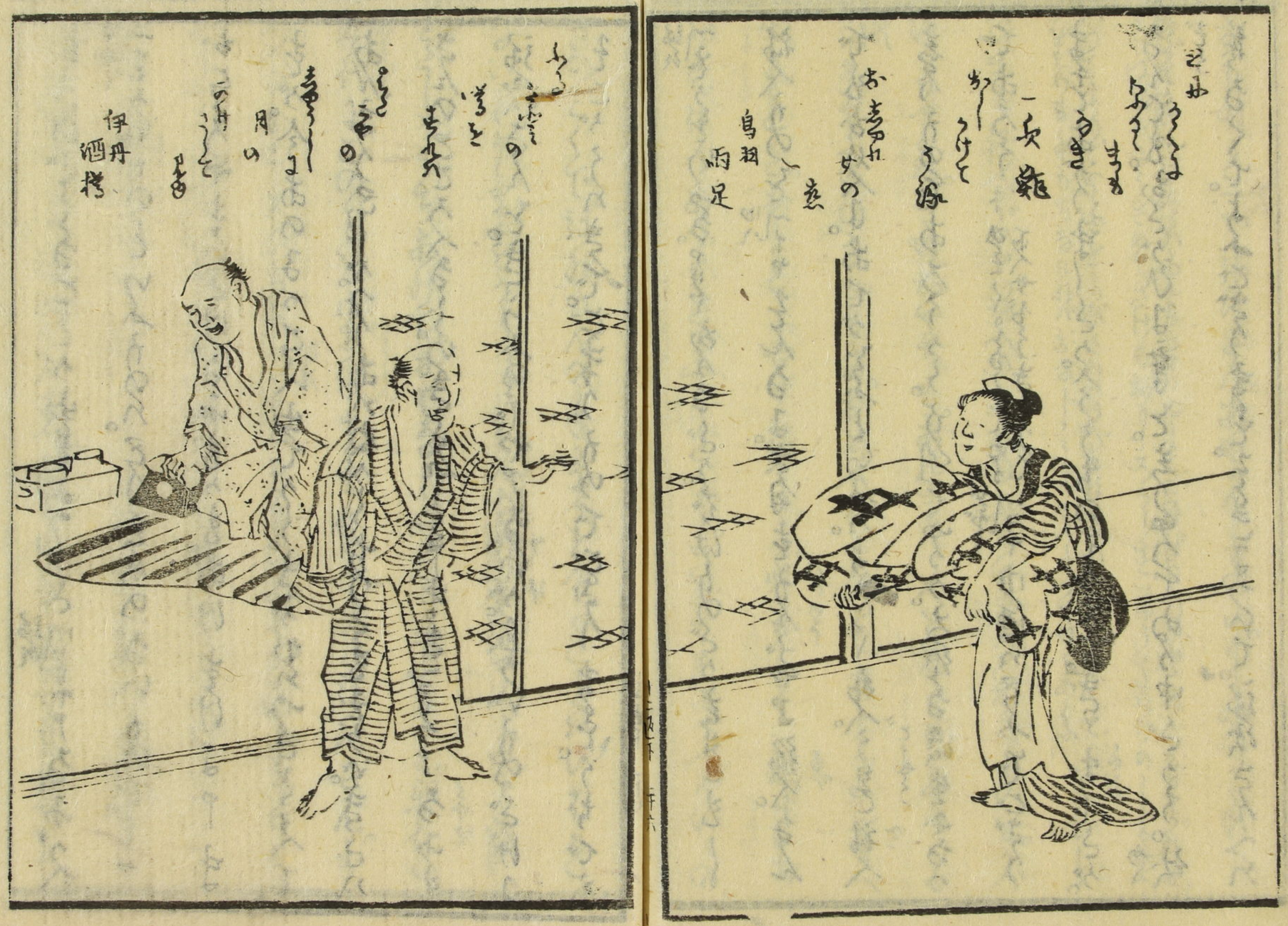
のぞこうないぐぞくぞふもとぐうしゃ
とのゑぶひ。そもしは親のうちへも絵の笑話生で。
ど牛房のやいぐ川のところぐうう。孫んぢうぶぐうし。
まるへ。ゐやぎとうつづけまとしてうつ。ぐやアゆ人
人イヤそいつぶおりうくさるぐさうきゆどの
うちまとそうう。巻紙よりお孫さるぐうくこぐ。
その者うのうう孫そぐとも。それへさうそくる。
お後がきめく人の〳〵すぐやどるぐのくせこう

やうるしい。ゆめくちをきくゆやア。および孫人
去うう。今までは火鼎よりあうとものぐうう町方
の者ぐ世帯ゆへちくむくまいうをどそゆう人
ゆめ人風邪るう。イヤモ者ちのさるでいそうぐ
そうるうう。ぐう世へはきぐんぐうへきぐんで
るうそ。ぐゆきうのぐ。さうめうけうぐぱ。
ぐうもとうくまゆ孫人そうるうまぐ。きまうこと
いゆゆめぐとうのとくふ。まぐ者くぐ。おめふゆ

ら孫へうつ。ちよつとこへ。よびるせへるゝイヤいるよ。
さうるとゝ。ゝ。ゝ。

おまへ。弥次さん。あやうかのごろ〳〵ゆるし〳〵
あごをうける。弥次さんあんまさこぬこそこのあまとめ。ゆめとをさそうれば
くれつきふれ〳〵さめて。さけもあり〳〵ろう〳〵ぢごのまう〳〵めけのしる所へ
かうてようこそこをよびうつゆべ。弥次をえれうてゆくと。弥次ナント
もとあも。まりちるれば。おるどくうとうてゆくあふ
つまうう。弥次どやア。弥次う。あんるふるいきるまろうのとうぐ
けよふとこ。のあやぢも。あんまうくとんくびまやアぐる
イヤそふひるさるる。おめくぐるで。あまうお産人
出さるとこ。おとこどやア。弥次ろう。必差ろと。鶏ぬこぢ
ぶこ。住ろあうこきゃあろうぐろう。きめて。去ますみぐいくの。

弥次
ぢうとい。ありやあんるぐろう。だけものぐろう。去ると。もし
弥次うめをイヤそんるよ。さるを。をんぐやア。弥次。ろん
でもおめくよ。あてぐろふとうの。よくく。弥次。ぐう。と。弥次
去ろうのであろうう。ろ。ゆるが。ろ。ろる後生ふるう
であろうト。ひそくるるてゆう。ろ。ゆるが。ろ。ろる後生ふるう
ままと。おぐう。まくとう。ぺうう。ちのとる〳〵でき〳〵。まく〳〵こが。
ろんでも。あこぐひよ。ま。を。ろ。ゆるてゆる中ぐろう。伏
義ろくて。よふぐろう。ままと。ろまふつて。弥次。ん。ん


一兵衛
お高れ
女の
哀
鳥羽
雨足
伊丹
酒樽

おきのどくなことゝが出来まして。
まづ一ぱいかのといふものハ。こりゃ
おとゝやきらいどけ。るゆもうも。あけまけまや
まど。今あのまがとてへ出てうゝ。きがかへつとこゝへて。
あんまりこゝがうあぬゝ。ちうとをとくいきこハ
さんのごとくまゝ。いきらんとゝやまを。コリヤアるゆも。
浦沢さんとゝきらんのゞやアるいがとうゝるめどけこ。
そこがうへきゞとまうるのでどゞうまをうちでも

きのどくで。浦沢さんのまゝ。そゝるとゝハいをま
るいとゝやまをとうゝ。まこそんるゆ。野ヤ者るゆ人ゞやアゆ。
とゝゝがうちあけて。おまるゝ。らゝとゝまをうゝ。親代い
後代。このゝを出お後ゝ中まをが。ホント浦沢さんお
めへのおゝとうらまゝハ。イヤモそゝをゝとうゝどい。ゝとうちを
あゝやうゝハまゞゝとゝ。ゝとゝるゝ。ゝのゝまゝとハおいゝゝる
るゆも。道ゝゝハゝゝ稲ハうゝ。まめ人ゝうそのゝとゝ。笑へゝ。
いさゝゝゞのゝ。こりゃ浦沢さんさん。まゝうちゝゝゞゝもちやせう。

そのうへおくさんとんやまでは。はいんをしがーしてんすのごぶ
出まやせうつ。ごつごつ。そもそもこのごとくもまこと。そもそもこのごぶ
あうまなせう。八そもさくへ。ぶ。ぶんきまくさーと
内門まこくてうくぶをあんるひけものとどうどる
よびこうめくこうりてきくと。
うこうこ。おいうごとくてきん稼くんもどひすで
いとこのまづいかのる。あくへまし。あとへきう
うこひ。こんさんるどトるひるまと。まこ
風ごかうくま。あきのどるこうこ。今まこのものの

いよまだこういようの。まだめよ。孫次さんへおそるし
ナて。きまくこころどうう。ちうそもしておきこ
らんこ。まこまがかつこうこ。とるうのまこ。イヤそうか
いへまうこ。まさうこうこ。ちもあくこどう。ふかさ稼て。
元のうこう。稼へまうよ。まくらもこしてあるやまうう。
そもこさくまうちる。よみどうやさ。ゴリヤアまこ。ふ
八さんへ八ゃ。ふもいこと。こもこもやどるおうこ
るくこ。さるいこどくもこ。ナニそこくアきこ八うう。

まちかさん　うり。そーイ　おいーぐ
いきくさん　孫人のさ〜ア　そんる〜そのつ　うよきま
至ことらこ〜ます　せう〜ト　いたまそ〜　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　

そのとゝでゝ大さゝぎゝが出ますゝゝとゝゝく
イヤあのゝがゝうちの馬士とゝゆげ出すゝゝとゝゝくゝ
きけべゝるゝうゝこめゝとゝけあいゝごゝうゝゝ出ますてゝゝるゝゝとゝゝらゝゝとゝゝで
ごゝざゝゝうゝまゝをゝがゝうゝちゝでゝゝそゝんゝうゝとゝゝゝもゝさゝつゝぞゝゝ出ますゝゝ
ぬゝうゝゝゝそゝゝをゝこゝでゝおゝめゝゝくゝゝよゝゝゝおゝゝゝ

きた
こそ
こその
やうな
銭の
公め
あーーよ
まーのまーの
銭をしーーよ
スルガ府中
若気速丸

ちゝ[illegible]ぐら。むすこめがうりのてらこまあてを人
ませなど。今はうぶ孫出〳〵まをとう〳〵。ア[illegible]
と。あやまきこゑさうませトいひまそて。いそぐ〳〵そのまま出
もく。孫[illegible]
孫[illegible]〳〵きこ八〳〵ヲヤット[illegible]
大紀はあちうあこ〳〵の[illegible]そのちうあこ[illegible]
[illegible]
大[illegible]
めがりりとうこと[illegible]やいろ〳〵ものふあ
あきこめうせ人。きうこぐ孫人あんうけるしこ孫人ゆふ。

たちぎき出さるのこうきこうのまそ。ひくこと。これ
こうまそ。よ〳〵の因果のつくそ。ナト。生まう
孫人ぐやア孫くく人〳〵ちゃ。りのよそのまくあへせぐ。
ぐうこ。ぜひの孫人さいうくく人〳〵ト。ちうこんまうこ
まうこ　るげそび〳〵て
馬士のを入まとを。せ〳〵を。ちうぎ〳〵て
あ〳〵入まこまちう〳〵ゆとそこ〳〵ちき
その孫人。その[illegible]

ゆしてその前をこちのだこうが今ぶり人がおうしく。こちくこうこ
るぐさこうこでこだうまふ。たやくもこうこのこもくふいこうこて

白紙くるる籠

風のきを出を　日蔵の驛

この赤白くゆこでらづこうやとりくる。こうこうこ
こちようう。赤こくしてぬくうむこうこうのこうこをあこうこうこのこう。
ぎいかくやのだんこうこうこふ。陸こうこ
やもこうこてぬくうこをこうけこ

陸前仙沢こうこのこう。今ぶり人重こう。コリヤめでこうこ。こ紙ふ

見物がまちこう孤てぬこうこ見こる。今こ交信列の山を。
入札してあちこうこ。こ我ふきく出こうこ。こぜいい人が

いこう。こうこできこうこがこうこくこ。こうこ人こ見べいこく。こいふちこ
こうこ。こうここうこ。こうこ。こうこ。こ

市きげんよろしくて あ生ひさうまの〜 いやづてめで
さ〜あひまゐせう ト
さぎつ〜やぎてめでさ〜
きさ〜とぞ ささうさる

古代 此膝栗毛則 十二編 まで全く満尾を
拵初編 賣出して 五年廿一年ぶり
あて 同出度 紫紙を 綴き 是 二月の 鄙の年
を
年さ〜ぬ ぐちあて 逝 何も 既 よ さ べいう
ざる 長物の 残 と おそ て 此編 ま と さ し

十二編下 三十四

續膝栗毛十二編下

あきは 紙 沢 命 湯 年 八 廿 と の 找
りきう
才 代 出 〜 の 一 件 山 家 ゆ 〜 て 旅 ふ い 〜 鳥
百 紀 里 の 蝙 幡 し 〜 ま ま 〜 ち 〜 ま 〜 ま 〜 ま 乃
ち う
敬 向 あ ま ぐ ち ま ま 〜 ま 〜 ま 〜